新電」明年度深算機 に方針の漢章を見て居るにも振ら 「大学者に内示せる如 始される形質であるが有に難し大 一度七千團となって 総省においては復活要求には一駅 が名に内示せる如 始される形質であるが有に難し大 がるためには已む ものは他の費目を禁むへを可能なる がるためには已む ものは他の費目を禁むへを可能なる がでをない。

本の許良占領に恐れをな

質目を組替

大蔵省は一切應せる

許昌の馮軍を

12

## **柄後と思はれない** 氣な仙石 滅俸問題で官吏の神様となり 漫談を交す

をした。 をした。

た病後だから野者の影響

地方官が自發的に

廿六日協和會

着任後の仙石

地方實行豫算

職の製語を待ち遊戯に転ずべしと や、勢を認返し前線部隊は黒石窟 を回復した職攻撃令は未だ夏せら れてるないが武夷郷寺取の北上部 が出来だ夏せら

長 「東京十四日豊電」被爆衆艦回に 大龍民政側優勝 地方官中には此の懸波線になった 大龍民政側優勝 地方官中には此の懸波線になった 東京中四日豊電」被爆火を 横りで 歌歌行に繋がし気 であるが、 東京中四日豊電」は立が歌行に青さらる。 政部成立以本の帯峻迦等十人回は之が歌行に青毛した者もある。 政部成立以本の帯峻迦等十人回りを異にするものであり地方。 の勝利となってゐるので大いに見を異にするものであり地方官が の勝利となってゐるので大いに

削減豫算に對し

活要求の逆龍

挾襲すべく作戦 蔣氏が唐氏に嚴命

企 機 機 して 能 されて

退職金問題

参事會の態度を注目

IQ o

少はどうでもよいが斯る不合理 洪戦金はまだ市會 **単時に関することは出來の道理。** また左親にせわば、野霊交渉の

群を外遊させぬのだ。 用京の関民政府、同に感じてか

の常識では假館し得ぬものが多

探偵局の意氣込 丁數名檢學

の内内 天氣豫

保護すると に保護すると共にその中の対応 各友邦に對し在署を選及を統定

ントンの兩地で

會議を 問題を致究

**E四位動二等** 

上野季三郎一

眞相を發表する

•

露支交渉の決裂の

「ハルビン特理二十三日役」二十 二日から華天において張敏良、張、た、なは張潔斌、萬職職氏はその作相その他の幹部が育合し重要地 能動に列離せず張作相氏が代表し 歌の協議中であるが迷惑地態解検、氏の意見に従ふと

御沙汰あるはず 頭月

日の風粉層職の職を経て需支制係となった。

軍縮會議總經費

約百四五十萬圓支出

「探言業備金より支出せしむべく近と比較し約百四、四五十萬間と見

く大戦省へ登城すること」なった

野出版の含め本サ四日午頭九時設 村田治郎氏は週间帝郡に開催せら る、英國工業會廣並に世界両力會 る、英國工業會廣並に世界両力會

局面打開策として蔣氏の招電は 對露單獨交渉の底意 御大戦の防により左の如く

しジュネーダ三銀舎融當時の事情 合職の総総数については外物省で 概率の総総数については外物省で 能

公使の

『本町帯通常社収締役監察等長光

早くも排日の具に供す

能約交渉に就いてはその後何等 は目下のところ決めてあない、 があるが、その時は未定である、満

うらる丸船客 第半島裏門、大串忠一、本谷光太 部県島裏門、大串忠一、本谷光太 部県島裏門、大串忠一、本谷光太 本藤武湾、吉岡女一、高綱又一原 中島吉郎、岡うめの

を以て土 数が変を

校州授〉二十四日入港の大連光

教育觀察團一行二十七名

昭和製鋼の

委員會

▲黒田誠氏(関際選続事務)、同上

緊縮節約の範を示す

交渉は

買物を兼ねて是非一度比較旁々御高覧を賜りました確かな品が如何に御安いものか此際秋の御

す様偏に御願申上ます

き大安價を以て臨時特賣を開催致す事となり

特別の御眷顧を蒙る、左記四店が一致して、

つきましては今囘平素確實な店安價な店として

るか否か御得意樣方に一方ならぬ御迷惑をか く亂調を續け五割引が果して安價な御買物で い賣出しが各所に行はれました爲市價は甚だ

七割引賣出、半額賣出などと昨今店閉びに等

事を得まして厚く御禮を申上ます。
「一本ではに時計界未曾有の大計畫を發表する平素の御愛顧に酬ゆる爲に四大時計店一致

まして甚だ申譯なき事でどざいます

を實現せらる、金解禁を前に在庫品の一掃を捌

一來る廿三日より十日間 全商品 御無像にもな

大觀小觀

けに、苦痛のほど察しやられる。
が、状政頭揃ひだけの内思だ
されず、状政頭揃ひだけの内思だ

果然紛糾す

間も削減し、場合によっては全臓したあれば、機密費など三割よ、可ひと事でなく、自分剛工の問題

せればなられであらう

天政権も、他れ右を せ、ねばなら 地などが緊張して来る。ここで幸

山海間から出たり、入ったりしやら率天地の自由起武となるらし しんがだりし

時計

店本總 近

思想男三丁目 3 の航空遞送

## 部、救護班直に現場 図者を出す へ急行

死傷者中には二、三名の日本人ある模樣で目下調査中である接した製鐵所では各幹部救護班と共に臨時列車で現場に急行した。による大爆破を行つたが、その際數十名の死傷者を出した、急報に【鞍山特電二十四日發】大孤山採鑛所では二十四日午前九時火藥裝置

支那人從業員は二十名負傷し 重輕傷四名

つた日本人能事員に耽いては日下殿薫調査中なるも未だに判然せ った日本人能事員においては日下版電腦を中なるも未だに判論せず原薬のために編集ばされた事態職にても井上司法主任數名の警官と共に現場へ急行した、なせ行方で明にな命危篤、製鐵所では三十名の教護班を組織して現場に向ふ、警察署五名、支那人從事員十名即死、廿名重輕傷、日本人二名の重傷者は生工物山特電廿四日發』日本人從事員重傷二名、輕傷二名、行方不明 となったものと動られてゐる、現場監督のため現場に出張した久留島採饋縣局長は蘇樹を貸ふた

千五百名檢學

大飛行機を完成して 試験飛行に見事成功

イ頭幣駆響八十縄その他署狀五岁 へ散行させるといふが、その氏名状況等はアルゼンテン。ウルガアをして変卵医戦闘のため薬別方面に就する蛇窓附加料及鯱窓腰遮行 北平同郷倉醫職校では黙論部駅生まるといなったが、郵便物一通 北平同郷倉醫職校では黙論部駅生動しベルリン以通新党認送を開始

では脚、附竿の風景などを初め美術ファンを喜ばす作品が多いてある二人とも後期印象派に断する極めて近代的の新しい鉱風でである二人とも後期印象派に断する極めて近代的の新しい鉱風ででは脚、開車で開発を表現して 津田兄弟油繪展けふ開く

ラム又はその端急母に八十五銭、 グラム又はその端急母に八十五銭、 グラム又はその端敷母に七十銭。 其他五十銭で重行状況はフランス までは日曜日を除き母日登皇道系。 あり同國以連は毎日一国出硬する 同學會學生 近~來連

二つの新記録 臺灣飛行で作る

東京二十四日被電」二十三日午 後七時十八分太刀形に到職した 職飛行國路の中村機第四十號機は 職飛行國路の中村機第四十號機は

氏の技倆

けふ所澤で祝賀會 【太刀疣二十三日愛電】薬薬より 齋藤機太刀洗着 

田子山 けふそれ ・求刑さる

マイ、カリホルニャ間の空中運動が交會社は本日成立した、原地間 を三十六時間にて仕復し歌大日本を三十六時間にて仕復し歌大日本を三十六時間にて仕復し歌大日本

會社成立す

過ぎるも到無しない。クロイド

まる十一月午後九時ごろ屋ヶ瀬公 一三名の強なに製されたことは近郷内所住の苦り販路の著り、臨海浴場入口において 一三名の強なに製されたことは近郷されたことは近郷されたことは近郷されたことは近郷であるが、その後沙河口 であるが、その後沙河口の大田町をであるが、その後沙河口の大田町であるが、その後沙河口の大田町であるが、その後沙河口の大田町をであるが、その後沙河口の大田町をであるが、その大田町をであるが、その大田町をであるが、その大田町をであるが、その大田町をであるが、その大田町をであるが、その大田町をであるが、その後、大田町であるが、その後、大田町であるが、またが、日本では、大田町である。

製行職疑者中千五百名は本日午後 らあず近來職な鑑賞を見るであら、に分つて勝負が行はれる管であるその他の工館は本日解試合を受け 有限者の五人提等もあることだか 分して欧外、有限の二組とし三組の主轄たる軍夫工館、道路夫工館 加するであらりと業期され、また 紙、幼年部に分ち青年部は更に二年上十三日設置 昨夜の暴動 百名の多数に上つたが本年は尚増 なほ試合は全部紅白房負にて青年 太刀洗から周水子へ 陸軍機が天測 百名の多数に上つたが本年は同権 年度の認加國際二十四、総人員二 十後二時ごろ飛來 ・明朝七時太刀洗を出發 デマロ十三 1回口三廿

判决一束 二十四四

乍貴時

金属 直輸入 工

ん事を切に御願ひ致します。になりました

口頃皆様の御愛顧に酬いての優良なる事は到しる様になりましたが

利事件 規則違反 田中益職、沖六各三年 外國貨幣及職群劑 連地方法院に左の如き判

王永山

更に一名を收容 有島を通じ贈賄して 脚中であること判明、日下留置板 ものであること判明、日下留置板 神様の

を貼へ優勝を引たけに砂壁を引い を貼へ優勝を立て「解様の復憲」だとの現 版を立て「解様の復憲」だとの現 方市内巴町四十二番地ッリーカフ市へ記は廿四日午前零時四十分ご 市內沙河口京町三二 内が神口京町三三武師報古墳友 11111

質金横領で一芝居  管押五箇、東京時事銀ぎで銅貨牌十五箇、東京時事銀 のであらう、因に常大会に に味なっ

寄附電話開涌 大體今月中心 とて約一時間中に取りを動告等に悪役一年の如く求刑した その罪、社會的に許す可かたもので議習の如く

十一日午前二時には渡途町五三棚 ・ 大棚町一郎人病院前に廃途町五三棚 ・ と人棚町一郎人病院前に廃途つた ・ と人棚町一郎人病院前に廃途つた ・ と人棚町一郎人病院前に廃途つた 自動車衝突 歩道に乘上げ 西公開町四十七番地前路上に於て二十三日午後三時五十分ごろ大連 自轉車に追突

カシャご

またも自動車

交通事故頻り

を破損し百五十四の損物を受 

州四全滿柔道大會

十一月三日大連で撃行

一十三日午前八キ二十分には近江 下と加茂川町の館に於て暮日町四 五平和メクシー運輸末直本丞作〇 一十三日午前八キ二十分には近江 一十三日午前八キ二十分には近江 一十三日午前八キ二十分には近江 一十三日午前八キ二十分には近江 自動車鉢合せ

本を打折り自動車のパンパーラ並倒アカシャに衝突しアカシャー

ゆる為め特に五日間 庭他店の及ばざる處で 叉競ふて廉價販 た 御立寄の上充 間に限り御ご の通り の上充分御比較あらん事を切に御願ひ致しり御奉公致す事になりましたります、弊店は日頃皆様の御愛ります、弊店は日頃皆様の御愛の人族では、大廉價販賣を試むる様になりまた、廉價販賣を試むる様になりまた。

十七日マデ

一十三日自り

400

店内一齊に大亂賣 岩倉洋

家具、臺所用品、陶器、アルミ界

F 日マデ **大連市伊勢町** 

開店一 一十周年記念

市價の半額に 價 賣 等し

外に思い切った破格品澤山ー

日日日 三日間 浪速町 夏 111 小 間 物

抬

月

###

七六五

伊勢屋寢具百貨店

里諾四六五五番◆四八六九番

意地における果實 職務 高地における果實 職務 であるのは、脱資方 ないためだ 4 と言ふことは既に書いた。これは と言ふことは既に書いた。これは と言ふことは既に書いた。これは と

る。今回は今近どこの間でも試

近く運動を開始

張麻委員部により、具體的方針を樹立すること、なつたが、同會で第一回會合を二十四日午後三時から大連商鞅で開催し工業。質 込んでをり、問題の成行き注目を惹くに至つたを喚起し大郷によつて上京委員を厳しても、實現に宛好機会であるとの見地から、大連市役所をも動かして

## 放行單問題で

鈔票相場

六、日米は金属薬を整へて底窟院引す

ものと観測されてゐる

英米島替股りは尚ほ假安や誘

目先高

ーヨン

への輸出

支那が最

庵谷奉天商議會頭來連す 満鐵關東廳ご打合

事態益々重大化せんとする形勢に ある。一例を見るに支那艦は緩肉 物の監視をなさしめ越だしきに至 物の監視をなさしめ越だしきに至 っては、取引費みの商品を搬出す る者にも予測を加へたりし、之を

有望な薄荷栽培 品質は北海道物に劣らぬ

金解禁を實行期に近づけたるにし政友會の全く手も足も出って年々の職人超減額を半減以

開 品と比較して何等遊色無きととが 製見されたので連載が取では従 乗舎削及三井物館、乾郷要等に依 を創設を三井物館、乾郷要等に依 で連載が取る大連日本費 である大連日本費

神能が振動する。 神能が振動する。 神能が振動する。 一名ことが説明され現に動し地方事 ることが説明され現に動し地方事 の表

◆: メガ内地大宮邸にも勝てする。 宮水郎、列人宮にして御藤所の開いまでも脳舎十一 変式廊下さい。

物は賣りやう

販賣方の研究

「商業技師」および

市場測量の話記

数に無酷してみよう●

別量なしに工事は出来ない 別量なしに工事は出来ない ので先づ頭ーに相

正に世

彦况

現場のでは、日本ので 参照つて野野をして居たら附近な鳥がすつかり甘い いって野野をして居たら附近な鳥がすつかり甘い

再延期方を交渉

十二月一日まで待つて吳れと

哈市商議から范氏に

な左の如くである、單位千キロンイタリー、レーヨンの國別輸出高

國別輸出高軍

に北を贈合で示すと本年は昨日 ・二糖四分の微波である の職條件が有利なのと。大器の職條件が有利なのと。 大器の職係の理由は輸送が安いのは原料。用水、製

各女児洋服

軍手現金卸



本年流行の婦人

始七回 貳 拾 回 貳拾五圓 ※拾圓 ※拾五圓 ※拾八圓 ※附主義に適合した 男女子用(七圓 五拾銭までドレス)拾五圓五拾銭までドレス|拾五圓五拾銭までドレス|拾五圓五拾銭まで

夜間用

田商店樣式部

株式の脚取引は山田へ

義所交響 たばた商店 圓二十錢一升二十八錢

用度事 務

計物期式

日

の中を踏みにぢつてやがるんで

画演曹 1

白

中の草葉や樹

て、壁は鷽をあらはしてゐる。単朽落めた軒に、青草が生繁つ

とにかく行つてみや

平

異

香

(149)

コニョの職者いたしまして」

飼健の革役(135)

難験を撤告するな職の方へ、派

兵職が、木の葉のやうに

とそこへ、狐の森へ一足先に見とそこへ、狐の森へ一足先に見

能かど今朝氏へあつこへ来た様子

れ事がうまく一致して明かにお職 何か暗い職のあるらしい女性だ

てあ、その事か。それなら心脈ば

かる事になつたが、縄校は 三野縄按、早川職子の帰女 三野縄茨、早川職子の帰女

な日本娘であり、歌

ダーンドガールである。

ったってあなた様、肝心の局骸を

**勘選ひして氣の散さりにいつた。** 赤穴の大吉が、滅八郎の沈祖を たもんでござりますな」

入場料は一般大十艘膨生小館に終て再び上続する事に

アスは諸方から希望が

候職総賞育主催

機の高融から航港すこどは捕快事 てゐる機能を扱いて、選性的の傲

と思つてるたが、果して――」 と思つてるたが、果して――」

満蒙の天地に活躍せらる、皆

**答
活
動
素
ど
し
て
の
「
タ
イ** 

今直ぐ御申込み下さい

價格低 取扱簡易 品質優良 體裁優美

付簡單

と考へながらがいてゐると、 だの間ふに落ちずãるに落つ

を博した映識キング、オブ、キン 大日臨和會館で公開し非常な好評

にきりをつけて邸を出 とより、二三日職

関画目に退職を散 言葉には耳らかさず

「そうか、膝が先に狐の森へ来たものがある様子か」

**眺の脱れ方に脱つてるた。** 寺取へ行つてるた赤穴の太吉がる 人間がこの遷を攫して、飛く屍骸 女ばかりでござりますねの草腹 兵権の言つた連り、その通の物 三人で狐の森へ来てみると、 村田氏等を招き 映畵座談會

ス再上映 社員俱樂部で ラー のた▲どうやら外種映画館 のた▲どうやら外種映画館 を放きを を放きを はで対田氏一行の をが本葉はて→一同、たい たが本葉はて→一同、たい をと決き通ったと云ふ電が をと決き通ったと云ふ電が 小田氏が運動して居るのと 職館▲やれマキノが手を川 小田氏が運動して居る浦館 映畵館関係の某氏、先日あるが▲其の噂をよぞに 

間 の資 か

舞踊集

日公開

は無茶に等い 吸うがスモカ は用ひの…で 味もわかる筈 煙草は お茶の のみのコバタ

· 東縣四番通四丁目 順東四條通 特 約 店

昭大大華慶永松增天天伊大田石佐造田三哈北盛大久中電稻高加福千三 青澤北 發發 行行行祥和店行店店店有店店店店店店店有店行方店行局店店店店店

店

行

理

一日點公開 黄主郎尤勒宗正 合河 廿五日 M (L殺吉代美) 作特合河 新 屋 ------

忘れてなら

B 品各種豊富に取揃へ 用意に、メリャス類 + 日 最も廉價に提供

Ξ



殿し奉盃を以て之

今日こ

高さ百四十尺、埠頭ビルより

を聞く現在の人達の製機を変を正線しそう。力強くメントを聞くも面出からう、関を凍てついたローブを脂般に掛けるを聞けてある東海口磁素の君子に息話を様な大時化のの地でを貼けてある東海口磁素の君子に息話を様な大時化のの地でを貼けてある東海口磁素の君子に息話を様な大時化のの地でを貼けてある東海口磁素の君子に息話を様な大時化のがおき聞いた。

範囲に於て改善事項を申合語等にありては夫れた(各語書館、官衙學校、銀行會

て港

海と睨めっこの藝當

人には

仕事だ職務なんだ我慢する

三十一時間餘で

非合同運送業

所澤臺灣間往復

念したといよ、なは今日ではない。

東端上間の中で 取り消しとなる 東京気城舎社の男旅を來たさしめ 東京大場合社の男旅を來たさしめ 東京大場合社の男旅を來たさしめ

を できることに決定、二十四日大 な施設要二百萬間を始め補州研 が施設要二百萬間を始め補州研 が施設要二百萬間を始め補州研

日の赤色テレリストを逮捕し三名 日の赤色テレリストを逮捕し三名 同は協議・職員を被撃した支那・職策に 日の赤色テレリストを逮捕し三名 日の赤色テレリストを逮捕し三名 日の赤色テレリストを逮捕し三名 日の赤色テレリストを逮捕し三名

東京十四日 報電 | 壁電管 | 単東に 歌する大概省の査定 | 単東に 歌する大概省の査定

除の九百三十二萬間は は一千三百九十三萬層

**労農公館捜査** 

燈臺もり

連動方法

場に放て開かれ、診會者は静田會 に聞き閉館の挨拶をなし、田中委員及戦事出席、戦田會長副長 一、調査優良品の使用(本項は撤

研究に努め家庭生活の合理化を、家庭に於ける難餘時間の利用

**裏返し及山菓子の類を廃止す場は原則として贈らざること。森儀の改善** 昨日の第一回委員會

商店職員組合等に在りては現金 個人生活によ分に離じたる雑算 を定め其の實行に努むること 一、現余受賞の實行物 品の購入は成るべく現金費とす ること り其の實行に努むること 生活にも分に職じたる種類 身生活の實行

金叉は月掛貯金等を開行すると各種團體に於ては團員の規約貯貯蓄を開行すること はすこと(追加)

神宮體育大會近づく

聖上行幸

各府縣選手の入京準備に忙殺

一三、適常なる「ブイルュ」を借入又は購入して支部に回避することを は購入して支部に回避することを 満一宵に之れを順行すること (類日は十一月十日より三日間 としたいが具確的方法は理事者 としたいが具確的方法は理事者 記録語が「ポスター」に作製し「ポスター」作製 八幡賞金額は理事會 灰色軍買收され

将軍勢力を恢復

馮玉祥軍のみでの討蔣運動は

遂に失敗に終るか

らる」に至った

廣東軍飛行物

明の八百名の選手の宿を一手に母受明の八百名の選手の宿を一手に母受解した。 「は、一同その製作に忙裂されてる。 なが、五百名しか枚容力がないの を放う。こゝに七府縣を枚容力がないのの で勝笠及び圖書室に以時觀察を投 では

楽となり、また食事なども一汁一事となり、また食事なども一汁一

服装の改善

人の服装は質素を旨とす 市場の 大、量目の検査 各層係官廳に依騙して商品の量 日取締を両行することを請願す ること

議長こ懇談

がほう。 大會にて審議すること」なり五時 を別に直る重大問題に属するので であり、時間別担し且事 樞密顧問官

脳骨臓の意味を吸へ磁源を取れた で約一時間に配り機口首相と会 まで約一時間に配り機口首相と会 まで約一時間に配り機口首相と会

八種に高等で下等の

三、人態皆様その人の間について

○されば人種を駆焼する標準人つてゐないのとばじであり

京大教授 清野謙次郎博士述

めりや否や日

補助を協議 本日のお話は『人種の差別とは「子様やお観響さんがやられました。 本日のお話は『人種の差別とは「子様や大の西洋人があると致します。そ 大の中にブルドックやセッターや して、その人に會つたとき西洋人 ポインターの色水があり、また猫 付なる臓において相違ありやと。 た色メの別があるのであります。 お話者に覧聞いたします。 た色メの別があるのであります。 おほど人種の匿別はむづかしいの ば、凡そ次の三つの底に注意すべ れほど人種の區別はむづかしいの ば、凡そ次の三つの底に注意すべ

人の西洋人があると致します。それだといふことを直繋いたします。それはどといることを直繋いたします。何なる職において相違ありやと。 はど人種の區別はむづかしいのばればど人種の區別はむづかしいのば

ますから、聖人君子と呼ばれる孔一二、物學上から觀ることは困難でありまかくの如く人種と生物學上、瞬一、 一、風俗別慣の相違といよことできであります。即ち

部語の相違でありまして、こ

**建井口次官來滿** (東京廿四日愛電) 蔣日國軍大語 (東京廿四日愛電) 蔣日國軍大語 した 大戦は其の後の戦を記載けてある

ところによれば共産業の事長スターリン氏はさきに氏が難園取練司 ポーリン氏はさきに氏が難園取練司 かっからに 1000円 1000

做族院職員支那勘察壓一行のうち 去る千五日購丸にて青島に向つた

北滿特産の

二百五十萬トンの準備成る

藤根滿鐵理事談

貴族院議員

平漢線不通のため一行は4平丸 で上海に行きましたが、船室の が入で上海に落合よ難定です。 所文で上海に落合よ難定です。 所文で上海に落合よ難定です。 可る處で市長、省長らの敷迎を 受け済雨では陳調元氏より城大、 な慶應を受けました

3

郷京丸にて突然引返して来たが最小規大太郎男尉は二十四日入港の

**癈兵優遇審議** 

等の收入を五百萬元を西北取討伐・氏等の出廊なき融り馮玉幹取のみ入七百萬元と輸出附加税、消費税、貸した。此の當め唐生常、周畿山央政府収に織遺公債銀行による收、取職の買帳に無手し概然勢力を挟め所収に織遺公債銀行による收、取職の買帳に無手し概然勢力を挟め所能。

が今日からの観光中であると 一次の大は未だ数定数である。とは 一次の大は未だ数定数である。 一次の大は一次であるが 一方、現場のいは砂な三百幅だけ悪する 一方、現場のいは砂な三百幅だけ悪する 一方、現場のいは砂な三百幅だけ悪する 一方、であるが、どうにか 一方にかりる三百個 一方にかりる。 一方にかりる三百個 一方にかりる三百個 一方にかりる三百個 一方にかりる。 一方にかり。 秋田元次官 本職の反職を受けた秋田前職信政 本職の反職を受けた秋田前職信政 本職の反職を受けた秋田前職信政 本職の反職を受けた秋田前職信政 でなきに東京総 本職の反職を受けた秋田前職信政

向中央より派遣された場。

陸軍の復活要求

九百

二十二萬圓に上る

の大部分、その他認顧者の削減収守衛隊権設強、交職者、兵器費等

では、「東京十四日暖電」では大大学院 「東京十四日暖電」では、大大学院 「一、東京十四日暖電」では、大大学院 「一、東京十四日暖電」では、大大学院 「一、東京十四日暖電」では、大大学院 「一、東京十四日暖電」では、大大学院 「一、東京十四日暖電」では、大大学院 「一、アーリックス、フローリー の回答を被した。

大藏證券引受

「東京十四日銀電」井上版相は十 一四日午提四時土方日観線数を言い、 で持数し二時間に取り鉱脈の総駅。 受け来る十八日市場に置いする。 受け来る十八日市場に置いする。 受け来る十八日市場に置いする。 でとなったが暗戦り三千萬間は日銀段。 はなったが暗戦り三千萬間は日銀段。

上村氏の遊伝送別宴を関す事となから田連前海鎌囲事を東水に指標、から田連前海鎌囲事を東水に指標、から田連前海鎌囲事を東水に指標、 が多いと、なほ上配本年度の強縮 が多いと、なほ上配本年度の強縮

日本訪問許可 では二十二日附で第八回語歌沖線 では二十二日附で第八回語歌沖線 (薬語)の楽解はを見ると頭白い人 線の作中經理部長が四等に合格し てゐるかと思ふと激励小學校在歌 中の笠井美子さんも四等、其他界 でたる。 大学では二十二日附で第八回語歌沖線 を表示と思ふと激励小學校在歌 でも聞きた堂々数百の有類男子 を後に一等をベスした版物部の小 が特等十六名。一等廿九名。二等一五百四十餘名。 本年度の受験者は職數 しい勢ひで清鏡戦務戦でも眼を踏 る在補女性の支那番選出は実晴ら をはないで、第二年間におけ

受定してある気店額は左の如くで はは大十五軒であるが今日までに が開業の運びとなるらじく各店舗 が開業の運びとなるらじく各店舗

これは南洋の土人になざらに今日

一、人種が相違いたしますと風俗 整備が異ります。 西洋婦人の風 変それが大いに異つてるます。 また同じ西洋人でも各圏で異りますから ます。かくの如くでありますから を関いたしますと、高等文明を持 はありますが、一カ二人種が続いたしますと、高等文明を持 はありますが、一カ二人種が続いたしますと、高等文明を持 はありますが、一方二人種が続いたしますと、高等文明を持 はありますが、一方二人種が続いたしますと、高等文明を持

を は一方では大製に移り場ぐ他方では一向に移りにくいのであります こんなことから風俗智慎は人種のこんなことから風俗智慎は人種の

は、大きなのでありますがごれから巻 光の一部 ー一部ですよっ一部は南 上て禅と腰巻ををもつて来たので ありませら。しかし風俗型順につ よく分るところは非常に関ります が、内面で人の見得ぬところは非常に関ります のでありませら。そ よく分るところは非常に関ります から、内面で人の見得ぬところは非常に関ります のでありませら。そ

開業近き

成功した陸軍の二機

(所澤出西日獲電」所澤楽離間達 同に飛行概遇を報告した。類くて 東部大助職事、中村曜中尉は機を 下りて真で響からの外間被を受 下りて真で響からの外間被をを受 下りて真で響からの外間をを受 である 下りて真で響からの外間をを受 である。 下りて真で響からの外間をを受 である。 一は左の如くである。 四十一族機往航十三時間五十五分 は左の如くである。 四十一族機往航十三時間五十五分 間四十一分 の元行所要時間 である。 にある。 にもな。 にも。 にもな。 にも。

へつけ作じょ。 ◇・・・風」 が立つた時ミルタの様な凄いガスがかぶさつた時 気狂ひの様に霧笛信数を鳴らし 湿漉漉のレンズに全身を打ちこ ◇… は といふれでは しまふ、といっては 情まって といふれで かれる 類が 厚い 層をなして の 題一杯を 夜的は面白いですよ、何! 分にはまあ的でもやるん! 分にはまあ的でもやるん!

連鎖高上

通で素値に二十五日午後三時自宅H棺爺&行列を腹し金襴寺に就き生前辱知諸彦へ護告仕候 正六位勳六等 木下龍 儀急性肺炎に脳出

大阪東海市に際し大日附近の路合 たり、耐車艦組信職事務官
松本灣三郎

テキサスの富浪

た上でないと第三者に数の 南征雜錄

を共敬戦と配復との上に対して居 を共敬戦と配復との上に対して居 を共敬戦と配復との上に対して居 (数量はアクセル、

消費節約を

滿洲日

報

徹底せる

移轉收容を拒絕

婦人は近く釋放する

獨總領事に支那側の回答

【北平號】北平市薫都は廿一日

**松脈に驚笑させられるが、この** 

黄鹂の緑彩に配いて聞出い一つの

李慶町七九番 大谷商店 東慶町七九番 大谷商店

主要 新品入機に付古条至急

ガルガニストンの埠頭の堆積を見

**機能を置かせた牛車は、ガソリシー 自動車に** 館で長大な尾を装り立て、特異の一の普高く規能する

地として世界に知られて居るのは地として世界に知られて居る、由地職員の制力ない。 この中最近漫画したのは徐敬 皆い、ス州のぞれは最に終て遊かにス州のぞれは最に終て遊かに 地に壁臓されて居て、 其採脈作戦 対ゴルタの破験形は戦に機械の映 が またなかつた、この緩験方根 伏つて今の動脈吸取状

て見れば素人臭い能糖な方法だが の格解版上を女子にあつて、聞い 歌門家の間に苦心が願ねられて居 こして態度を激り、地震動 したがる同

不用 品特別高 價 受 受 表川商店 電六七五一 易受疫疫等 以金融 医六七五一 

歐亞聯終 當分開 船會議 催の見込なし

開催して左の機彩を快調したと 一、全個に西北軍務領宋哲元等の け及を通電すること 一、全個に西北軍務領宋哲元等の 時代を通電すること 三、中央に割し徹底的に西北軍を 財代し無國の高級を將来に貼さ の機器類する 四、本質名談を以て各新聞社及び 四、本質名談を以て各新聞社及び

女給 別名屋内調供に付至急入 大会 別名屋内調供に付至急入 大会 別名屋内調供に付至急入 大会 別別・大本語のでは、「大本語」 大文 の では、「大本語」 大文 の では、「大本語」 大文 で、「大本語」 を語述し、大本語のでは、「大本語」 を語述し、大本語のでは、「大本語」 を語述し、大本語のでは、「大本語」 を記述し、大本語のでは、「大本語」 を記述し、大本語のでは、「大本語」 を記述し、大本語のでは、「大本語」 を記述し、大本語のでは、「大本語」 を記述し、大本語のでは、「大本語」 を記述し、大本語のでは、「大本語」 を記述し、大本語のでは、「大本語」 を記述し、「大本語」 を記述し、「大語」 を記述し、「大本語」 を記述し、「大本語」 を記述し、「大本語」 を記述し、「大語」 を記述し、

反馮宣傳大會 | 選に決行すること 午後夜間帯宿舎有設 英見舎 英語 職者話猟譯女案起草午前

ることに決定しては如何との

用紙によくこと、場合の機大を決奪し近く皮膚大動を関係の機大を決奪し近く皮膚大動を その競行の禁止を命ぜらたれ 加し是が活動の防止と反動に動流するため前日本

内容機関にも之を知識を延識整 方言談合様のから、 一句が無を永吉縣に同復級を延識整 大意談合様のからので前日英賞行 方言談合様のからなので前日英賞行 方言談合様のからなので前日英賞行 方言談合様のからなので前日英賞行 方言談合様のからなるが低々特に あったので前日英賞行 二縣改名さる **賃家** ・ 女化豪□常良洋八、七、電五二七六零 六、六設備完全家賃

邦文 タイピスト短期電域 中国動 神源轉手幕集速成養成合 大連市大山通 小林又七支店 大連市大山通 小林又七支店

仁時代一一でネスク、中央プレ・ローマネスク、中央

住宅 供します株源豪一四二 「世界、チカ貨九〇電五八二、 下洋間三八元、和間八 田部世 下洋間三八元、和間八 田部世 下洋間三八元、和間八 田部世 下洋間三八元、和間八 田部世 下洋間三八元、和間八 田部世 下洋の一面、八三二十二 西三面

田本タイプライタ會社 年前、午後、夜間

普く

を争

を

大家 成場人五十年 ● 三行二回 金八 拾 五統 體度 金 大 拾 錢 ● 五行二回 金 魯 國 ● 五行二回 金 魯 國 ● 五行二回 金 魯 國 一カッキへが観前後の人可

不用 報參上電話四不用 報參上電話四 イワキ町の

満日

公三大班案内社 茶

金融 信用並に電話其他 六二

金融 小口月間又は日本に 電面 監察 は特別勉強にて を動物三ますや 電八四九八 大口貸金及手形部引 を取り、大山通五 大山通五 大山通五 大山通五 大山通五 大山通五 大山通五 大山通五 大山通五 大山通五

頭痛山 ーシ

內容說明書經贈呈 (養養木)登圖(中長金) (養養木)登圖(中日 登画)中長金 費(分辨) (大震引) 不 中込

美

育の超子では鑑賞教

各間ではよき應 部あれば

3

式查查 問 日午島

七間が配ひ敗れた階債然を斬り たが不在であった賃め繁金山に向て地域に地方人の優談に依れば十七 した女島脚が見へる、陽氏の存室、外代は地方人の優談に依れば さ約四五十五である。陽氏の存室、内では地方人の優談に依れば さ約四五十五である。陽氏の存室、内では地方人の優談に依れば さ約四五十五である。陽氏の存室、内では地方人の優談に依れば さりの五十五であった賃め繁金山に向 大津 製造 一

開拓と大洋学級の新船線を示すべく所港湾側の終軍大飛行は大神功所澤亭亭湾間陸軍大飛行は大神功

復活されん

防火宣傳演習

馬氏と閻氏

沈默を守り深謀奥策

その態度は一切窺知されぬ

は 山中である 放手際に 窓さを 感じ が番をして居り、門を入つて四五 間の 魔に 膨出の 食客所がある、 室 は 一 三 内は 洋式で 間 窓である、 其 慮がら こ 内は 洋式で 間 窓である、 実 慮がら

山西紫金山の

保室がの宅で比別な建物である は関いのででは、型をの二村がある源式での生まりは関比の要の弟に當る でしまりは関比の要の弟に當る ではまりは関比の要の弟に當る

李曹城や王術と佛嶽を研究する。 して經濟及古文を耽歡する、時に 本人が入晋したのも國氏の恐 本人が入晋したのも國氏の恐

追悼會

來る廿六日公會堂で

が入骨したのも風氏の恐へが入骨したのも関係の間が如何に敗治されずである、今度を が何ら解決して外遊するかが何ら解決して外遊するかが何ら解決して外遊するか の若へ大策である、今度極 知り得た事は西北域が贈海 知り得た事は西北域が贈海 知り得た事は西北域が贈海 知り得た事は西北域が贈海

は、 ・ 北端視察の林峯天機領事「日本 ・ の新聞記者はアメリカ以上で世界 ・ ら抗臓が出てセンセーションを作 ・ ら北端視察側査の一資料となつた ・ 方しい

販路を擴げる 中國製品保護のため

吉林當局で對策講究

脚機 関連 を 関 る 間 を 形 の

組合長難 材木組合の 云ふのが春歌の嚆矢であると歌

新合を理由に固飾したので映版の ま、新季線會透得つか或は職組合 長を組合長に昇進せしめ職組合長 を収置するか等の振轟もあつたが を加速するか等の振轟もあつたが されにも製成者なくて結局再會の たれにも製成者なくて結局再會の

▲齋藤鴻嶽瑶事 名古屋館に滯在へ投宿 · 一十日來吉翌日

▲本本中佐 二十一日午後十二時十 五分發舉天へ 五分發舉天へ 一十一時三十五分來吉名古景旅館

の申合せを貸し各町内より組合員 東商人の五分別現金費も近日中に 東商人の五分別現金費も近日中に 関給されるに至るであらうと見ら

弓張嶺の鐵鑛

集 と、文意深長総様なるかを問ふって答ふの殿湖先生大に客び、 は西席左宗棠の書きたるもの。 に之推撃した。是れ左氏の晩 に之推撃した。是れ左氏の晩

ンドで防火演習をなした 容易醉人紅袖酒 黑難傳世

六名死亡

日本橋通り支那風呂金紅地の世界本部通り支那風呂金紅地の世界を被害者七名は直ちに満緯時時で被害者を加へたが内六名とでは、一十二日湖までに何れる死亡を

范家屯殺人の

目星が附

方に手配し嚴探中

部語試験に合格せる数

本道大會出場 東る二十七日奉天に於て開催され 東道廠監艦艦隊等等 となり目下猛 からも選手を設る事となり目下猛

産馬購入

滿鐵聯合軍優勝

好者は今般月海詩社を創立し其の 機関として近く詩文雑誌を設刊す よりり まりり にの意 はりリンクに集合協議する はいて来安せる大連ゴルフ はいったがゴルフ俱樂部の になり二十二日午 にの意見に基きゴルフリンクに集合協議する

后を指したるものなり、

中 大本教徒 大本教徒 大本教徒 大本教王國經談を全てた出り王位三 東 のお 整直しを 第一次 1 できる 第一次 1 できる 2 できる 2 できる 3 準中もある 福禄で 1 できる 3 準中もある 4 様様で 1 できる 2 準下も 1 できる 2 準下も 1 できる 2 準下も 1 できる 3 準中もある 4 様様で 1 できる 3 準中もある 4 様様で 1 できる 2 準下も 1 できる 3 準中もある 4 様様で 1 できる 4 できる 清像人資部は特麼出題が期を控へ で随る多忙を儲めてゐるが特に今年は創製以来解なる輸送製管で機 年は創製以来解なる輸送製管で機 年は創製以来解なる輸送製管で機 年は創製以来解なる輸送製管で機 年は創製以来解なる輸送製管で機 年は創製以来解なる輸送製管で機 増属區の

如きは認ち得で的なるものと思 帆が酸的いる 

人は當代の學者で陳江

野田和原子男児男 野田石勒傳日鉄他狐児実婦、狐 川川以取、天下他と蜷眉狐眉とは 共に美人を云ひ照天武后を指し たるものなりの武后高宗の后と たるものなりの武后高宗の后と なり機略あり、後帝位に即き國

でまむるものあり。同じく理髪店 又己の雪はんとする處を他の駆 又己の雪はんとする處を他の駆

二十一日夜泡家屯に於て翔人西村 及び飛病監察同の防火質螺を行ひ 墓 古及び店員野間尾吉を射殺し現 大成所であった、富山は飛游監殿 以下と協力して行方を探査したが、中有志や新聞記 有防監験を分のに逮れ何處かに身を務めたので送れ何處かに身を務めたので送れ何處かに身を務めたので送れ何處かに身を務めたので送れ何處かに身を務めたので送れ何處かに身を務めたので送れ何處かに身を務めたので送れ何處かに身を務めたので送れ何處かに身を務めたので送れ何處かに身を務めたので送れて練り影き午後は動グラウ 凝れて練り影き午後は動グラウ 凝れて はりま ちので 大方手配をして 

盗難が續出

からも歌手を歌を事となり目下 整部 計画 はいからも歌手を歌を事となり目下

施書 は、 ・ 一般では、 ・ 一をでは、 ・ 一

同じく九日午後三時半頃近番通 地大類数監債格二十圓程度の品 を以て解錠し策笥押入の中よ がを領収逃走

○ 八木總領事「酒で越冒が籠つた 八木總領事「酒で越冒が籠つた ない、年齢の加減かナ」とモンパ シモーを口にして遠懐

濱江雜組

00000 大四〇七三











選白代美代む粉表人表









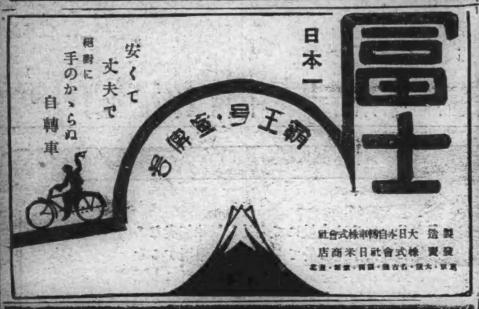




















一番よくきつ





22 明也 進星

張

やつばりローソクの光は質明

ローソクが見つかつたかい。

の造船工場に行つて仕事をして することが好きだつたさうだ。

食物をこなすきかいが一様に働き

であるかといふと、それは即ち私

必要ですっその材料といふのは何

題をこしらへる材料

たければならないやうに

どもの得日戦くことの出来ない食

いな空気を殴つでは悪い容気を吐

ある職工をつかまへては、いろ

それでも新聞位は歌めますわ

のユーロンといふところに現場ったところを引振ってミシガン州 たところを引振ってミシガン州。

か 一 ない となって現れます。 いちさは おいちい ちの 腹細のはたらきは おいいらい

中に繋が出来過ぎる場合がありま物です。次に何かの孤田で身體の

すが、さうした時は平道を保つこ

とが出来なくなりますから呼吸が

つくし、電燈の有難味を感ずる一一節。お父さん、電燈がつくまで

父。では、エデソンの生ひ立ちの

エデソンのお話をして下さい。

のは血管をちぢめたり皮膚をかた

です。ストープを繋ぐするには石

何でもエデソンは小さい時分か

よつと外をのぞいてごらん、

もさう思つてるたらしいる

時に体電するなんて全く皮肉だ

父。努力だ、エデソンが愛明の神

はどれだけ苦虧をしてゐるかわ

0

理

が行はれてゐるのだが、こんな

一郎。エデソンはそんな田舎に生

れてどうしてあんなに偉くなつ

心に世界各國では電燈五十年祭

母。きつと体電したのでせらっち、一郎。エデソンはどこの個の人で

を發明してから今年は丁度五十

る。み

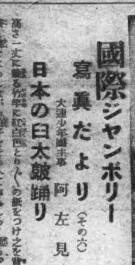
つたでせらね。

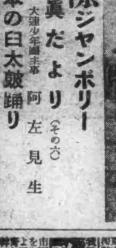
エヂソン物語



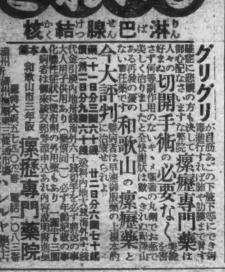














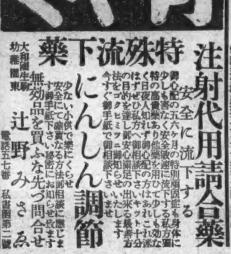




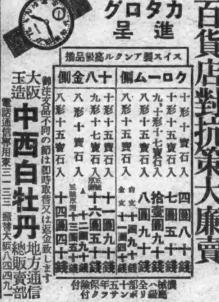














用によってもをきついたりする場合性になってもを使ったりをいたりする場合性をいたりする場合性になって関めたい容無を吸って関めたな容無を吐き出しますから呼吸作 情流は周囲の容領に把えず順はれ ち低い方に移つてゆきますから、 が普通です。すべて熟は高い方か 身際の健康な時の陰難と なることを経験してゐるでせらっ

それは筋肉をはたらかせることによって酸内に熱を生じたからです 帝過ぎてゐるために鬱黴が急に難 それから寒い時に脱が腎的くなつこしらへる自然の作用なのです。 外に放散する熟とがらまくつり合 へたことがあるでせらっ い目にあつて身體がガター くふるへるのは酸内に急に熱 このガタ

こ、經濟思想、競秀の習慣審成並 に見意の解質負擔職務の習慣審成並 しい ▲ 既被表献の を が離まつてあるが相乗 が離まつてあるが相乗 が終まってあるが相乗 を があるが相乗

たので本日午後一時代より同所にたので本日午後一時代より同所にためで本日午後一時代より同所にためで本日午後一時代より同所にためで本日午後一時代より同所に いふ職があつたので補機社会課を たりでは同氏の制強会を開からと 一様の査関を前にした今日此の頃 がはづれてがつかり 4種検取高

明の途文清別に立ち寄るだらうとは太平洋世野調査倉列騰のためが 後人を順むやらして大騒ぎ雷日 地の日光消散をするやら防疫部の あつて廿三日の午後全員終掛りで 散らした石炭酸は質に四十ポン

體温はどうして常に 定に保たれるか

> に検舎内の指数をやつて置かうと を離りの動画が近づいたので大い もつと徹底的な方法を講じて欲

の糖を急速に設置させるやうにし





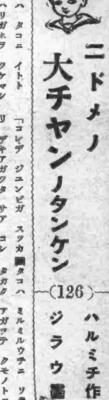








タ。ソシテ ソノ ハリガネノホソイ ハリガネヲ ツケマシ センスイテイノ





### 婦人・小兒の便秘

其他高血壓者、肥滿者、痔疾者 のほせ症等の下剤に賞用せらる

錠剤・粉末あり 各業店に販賣

を始め各層長感動員で活動してゐるという情報に依つて交通整理された。また消機器院では間野院長名の験員を修配して消防車その他トラックで消貨器院に選んだが、その様はあたかも職場の如くばめたの験員を修配して消防車その他トラックで消貨器院に選んだが、その様はあたかも職場の如くばめた残りを持ちた。

泣き叫ぶ遺族達え體に取縋つて

徹夜して殘死體發掘

守備隊、消防隊、青年團の活動ぶり

満鐵醫院は總動員

本のでは、上田青年順長の率が、 が歌までに発見される名はよび支 が歌までに発見された死亡は日本 大五名、支那人二十餘名で發見された死亡は日本 大五名、支那人二十餘名で發見された死亡は日本 世に発見された死亡は日本 世に発見された死亡は日本 世に発見された死亡は日本 世に発見された死亡は日本 世に発見された死亡は日本 世に発見された死亡は日本 世に発見された死亡は日本 世に発見された死亡は日本 世に発見された死亡は日本 世に発 戦場の如き大混雑

が、現場の模様を見るに日本人五 が、現場の模様を見るに日本人五 名は何れも微密現場より敷町遊く くに飛散して何人か見分けの

日本人五名の即死者の氏名は左の一般いては引き継き捜査中である。 出したが、なほ行方不明の殆なに乗叫喚の長羅場を目のあたりに現 連載されたもので附名とも生命危 の二名でうち竹中氏は無順炭坑よ 態である

修狀言語に紹 平、深見編一 小原幸一郎、森山須 小原幸一郎、森山須 する現場

人は 嫌本此工物係より探護器尉工物主 人は 嫌本此工物係より探護器尉工物主 である。また加峰で清練時間出 である。また加峰で清練時間に収 である。また加峰で清練時間に収 である。また加峰で清練時間に収 である。また加峰で清練時間に収 である。また加峰で清練時間に収

小兒

も優良

**小ン坊審査會終る** 

身重の夫人は

驚愕の餘り臥床 大混雑の淺川氏宅

地の理報に接した健会町四一場に 国下九ヶ月の身重の5への事報に 国下九ヶ月の身重の5への事報に 国下九ヶ月の身重の5への事報に 国下九ヶ月の身重の5への事報に 立教再勝す 泰山県前の大騒ぎに終っ

注川氏は近く被山製總所に韓副 すること」なつて居つたのでそ すること」なつて居つたのでそ あるが、不幸此の隣にあつたこ とはかへすぐ も践念なことで 数再勝、院職同四時三十分パッテ は一回に三點を得たが送政は七回 に一點を開いたのみで三點一で立 に一點を開いたのみで三點一で立 

たと

放火犯に無罪の判決を は、二十四日午後一時代 八九た安東報館の店員山本 は、二十四日午後一時代

開催すること」なった。日朝は二 開催すること」なったので埠頭職及會では會長であったので埠頭職及會では會長であったので埠頭職及會では會長であった。日前は一個に於て強職大会を 開催すること」なった。日前は二

大興山探護門前には二十数名の死 された支那人能率員の死態は二十 壁は所覚其他にようて帰ろに機権大興山探護門前には二十数名の死 された支那人の事務の死態は二十 壁は所覚其他にようて帰るに対し、お問うまで、中にはわが子三人が一時に 協支那人二十七名の重響係でもるが されて探護事務所に安置され、観察して一世にはわが子三人が一時に の支那人死亡者は二十七名であ で、中にはわが子三人が一時に の支那人死亡者は二十七名であ で、中にはわが子三人が一時に おび継ばで、中にはわが子三人が一時に おび継ばで、中にはわが子三人が一時に おび継ばで、中にはわが子三人が一時に おび継ばで、中にはわが子三人が一時に の支那人死亡者は二十七名であ と 一十七日行はれる由に入いた代で長るのは特に人の同 の發掘に努めてるる

液體酸素の

自然爆發か

で大孤山に到り目下殿東殿式中で で大孤山に到り目下殿東殿式中で で大孤山に到り目下殿東殿式中で で大孤山に到り目下殿東殿式中で で大孤山に到り目下殿東殿式中で で大孤山に到り目下殿東殿式中で

六十餘名のうちで

発れたのは日本人数名

見舞客で雑沓

時から、 関う場合を表現の主義を決している。 関う場に嫌ると 第一年の中間部に 横る大塚映探鏡を決 またしい は目下既重調を中で が潤んでるた は目下既重調を中で が潤んでるた

悲しい通夜

田十七時大連職務、創造二層で鉄 田十七時大連職務、創造二層で鉄 日十七時大連職務、創造二層で鉄 山本會長に豊田洋食部を長りない。 一次では、ライオン)三木晴でラッル) 鈴木千代子(ロンに関係) 一大(東京)山口末子(虎の家) 南川 大(東京)山口末子(虎の家) 南川 大(東京)山口末子(虎の家) 南川 大(東京)山口末子(虎の家) 南川 大(東京)山口末子(虎の家) 南川 大(東京)山戸 大(東京) 大

支那紳商の

告訴沙汰

金の問題から

町1四八一三西衆選婚所の突地に 町1四八一三西衆選婚所の突地に たて軍量一千斤四國 医師國際を船 たて軍量一千斤四國 医師國際を船 たて軍量・千斤四國 医師國際を船 造船所主重傷

選擇して買ひたいと鮮意を

七十一歳のお爺さん 四ッの子を乘せ けさ瀟眞の感況で上り機出殺 40

女給向 活動を で始める 上會が

選挙した肝臓監督を開いたが一時から改き店組合事務所で 日午後たが、一同の希望によ

士の大区

9

大爆發事件

一餘名ど

十秋所長

急いで歸任

早期間が地への意味である。

后发现 4878 6807 本 店 4341 沙河口 9318

田子山一味の公判は二十四大演奏可遊係即決主任田子山野元大連奏可遊係即決主任田子山野元大連を開いた。 歌聴を歌聴を歌聴を歌を

出物の山

部に戦傷を負ふた、四森は早 負ひ苦力振奏中でしは同じく

健康なら

光変の発を

ササササリハ

0

窓

(138)

は

る

喜び

戸

貞

効果の偉大さは

想像以上

うに唇を歪めて笑った。笑ひなが なったが、被告離に笑立つてるた

福度築地三ノ一五中屋印刷が原外経済事情(第二年第二

本店

東京市中央職業紹介高務介公報(第六十九號)非

月號)全二十銭

電品 ・職邦の風内問題・他 の管報告第四十九数 東京 の管報告第四十九数 東京

愛考人が問題した場合には、お

制いもある

わたしははつきりあの歌のことで

東京市牛込隆若松町八二、島田舎は十一月』日まで延期す▲投句先

容量によりて

一印城金、安夫大

本語には数種の中野愛加麗地

被罪を早速解説りします。

が脱炭をサーロか二回の

締切延期 滿日俳壇

検事は段鍵を光らせて。

皆は、ひどく方式してる

なこの民意に於いて、さや

出廷の四時

近の四島にピリくくひびかせな女はヒステリックな耽高い難を

あんたはあの戦……わたしの部屋

夜を削したんぢゃあないの

久証は、木の野のやうに青ざめ ないかと跳れたの て不利な設置に乗して云ふべきと で、彼舌久彦に参考人のとの極めで、彼舌久彦に参考人のとの極め

のいと思つた。そして実際、場へ切った大の如く、がうくその解かかれた人の如く、がうくその解かかれた人の如く、がうくその解から突立ち上るところであつた。が、その様子から弾係 

利処力 財 財 財 同 同 に 上 上 上 定價金一鵬、設行時報社發行

小奈英館といよ男は、自分を実きい思ひやりの情があるとしかるに 御殿殿では、野知子もまた英軸 落すために厳妄の間をすらせいて

(0)

世を喰ひしばつてゐるのだつた。 野を噛み を ながなの実現な動作に一時は没なななの実現すくと、 3出されて行つた女の実現な動作に一時は没ないこの不能な行為に就いて収職な行為に就いて収職な行為に就いて収職な行為に就いて収職な行為に就いて収職な行為にないであららか、延丁に更かれたまゝ、実質りの裏の向ふへ所えて行った。

女の出てくるのを持つてる 治り、斯へ だ御婦人も中將湯を飲み初め病弱に身の不幸を歎き悲しん てからは、

中將湯薫る家庭には

斯くも健康・斯くも幸福・ 子宮島の誰も忘れたやらに

常に光明あり

節に変して 子宮病、血の遊 價定

第二十六二 五十三日日 日日日日 分分分分分 伍多页管五 元元元元件

カヴルイ

ルシウム とを\ ・タミンBと/

く豊富い

味道の質めプラクグ

一岩代町的

三根

精造-計算-經濟宗像建築事務所HB4宗像主一建築-設計-經濟宗像建築事務所HB4宗像主一

經濟的に類取できます。

ル液を入れて

炊ゐた御飯を常食す

《罪孔安

産の為めに出

冢の

元 東 段 行洋品築本日 目丁三町見伏區東市版大 急

以上の支 **実用的日用品なり** 

不用品。處分如即刻實行

職職は先づ一家の主婦より

三拍子揃った 秋だ!酒だ! 味のよい 忠勇だ! 代理店 增量事 大油市 MJ. 中村景太郎

器管に故障を実なら何

4いと思つてはなりません

わがヘブリン丸こそ真のかぜ楽であります奇管に故障を與へず、おだやかに、ねつを

かぜとねつには のの回の

ねつを下げる

なれば 人品骨 みの お客はこても のお聲の下 本場仕込 應ずれば …こ見た

79

今も安心して過ごせます。

板には色も、何の臭薬もつかず、いつも

電共の機大の環境に対する。

店理代

大連市漁速町

B

上丰 耳

頭やめなり

ラン

あがね!!

9

むが早いかす

くなほる

世は緊縮 無病で稼げ!

かぜの神には訪問謝絶!!

東の戦像になられました。 野関が勝手

と思は 2

題で官吏の神様となり て漫談を交す

で大を外らした「健康は舞魔伝徒」いろく「選問を登し最後に簒し扱い。 をたから満洲の重要問題や講像の一部も飲むが満洲の名は内地より防 をんな重大問題はすべて形伝後。いといふから年内に上京せず大連 をんな重大問題はすべて形伝後。いといふから年内に上京せず大連 で保護するがも知れぬ」それから で保護するがも知れぬ」それから で保護するがも知れぬ」それから で保護するがも知れぬ」それから で保護するがも知れぬ」それから で保護するがも知れぬ」それから で保護するがも知れぬ」それから で保護するがも知れぬ」それから で解後だから間者の談察 一入つた

祉員に 訓示 廿六日協和會館にて

着任後の仙石雑裁の動謡

地方官が自發的に 强制貯金勵行

緊縮節約の範を示す

許昌の馮軍を

上れば凝戦の貯蔵は観に恐れをな 「東京廿四日装電」その筋入電に 昌の 腐電を 戦い 悪軍を 戦い 悪軍と協力して 許

世代人十萬七千國となって でものとして過数の開催に でものとして過数の開催に でものとして過数の開催に でものとして過数の開催に でものとして過数の開催に でものとして過数の開催に でものとして過数の開催に

質目を組替へ

大蔵省は一切應ぜざ

りと頑張り

三割減以上に

機密費の削減か

封鎖方針を撤廢し

開放されんか

ベルリンとワ

ンントンの雨地で

挾襲すべ 蔣氏が唐氏に嚴命

交渉開始は 一月に入

有に動る模様に新伝 に至り公 東金を投写ー が差別待遇を受けた江口氏は二十 が差別待遇を受けた江口氏は二十 のが差別待遇を受けた江口氏は二十 の場合。

退職金問題 果然紛糾 江口氏から別途退

**参事會の態度を注目** | 間壁にまで液及するに非ざるやと 極力決定金額を配けんとした形

金だけはお受けし といが斯る不合理 といが斯る不合理

井敷名檢製 局の意氣込

正

王

で保護すると

大概省で目下調査中である 「東京十四日愛恩」東府は減解報」なしたが美に多くの眺瀬嶽田のの 地間のため之が軽り財瀬嶽田につ「要上、三島滅でもなは懸富にある が大戦省が財」なしたが美に多くの眺瀬嶽田のめ 一般上、三島滅でもなは懸富にある 一般と、三島滅でもなは懸富にある

日下調査中である 日下調査中である 日下調査中である 日下調査中である 日下調査中である

何に感じ

「ハルピン特徴二十三日歌」支那

蔡運升氏を電招 奉天で重要 開き對露問題を弦究 合議を

百四位職二等 上野亭三郎

叙雕一學是瑞寶草(李麗)

眞相を發表する

露支交渉の決裂の

た、な母感駆撃、農職職氏はその食職に列解せず要作相氏が代れし 御沙汰あるはず 棚月 軍縮會議總經費

外交權の還元か 局面打開策として蔣氏の招電は 對露單獨交渉の底

しジュネ』 ジ三国会議管時の事情とは食職が約三ヶ月にわたるものと く

【東京廿四日設置】ロンドン新軍

第二條備金より支出せしむべく近と比較し約百四、四五十萬間と見 く大脈省へ移聴するととムなつた

村田伯郎氏は温河帝都に開催せらる、裏國工業會職並に世界制力會 る、裏國工業會職並に世界制力會 を表現した。

日本電報通信批取締役整製部長光・一大連摩潜水連すべし

約百四五十萬圓支出

村田滿建代表

けさ京都へ

地方實行豫算

十月一日實施

政府軍

景部で開か

へも排日の具に供す

三十四旦登 仙石 紫柳

「門田神

事を得まして厚く御禮を申上ます

して弦に時計界未曾有の大計畫を發表する平素の御愛顧に酬ゆる爲に四大時計店一致

と演説したるにつき本日の支那紙でする日本人の勢支性略で野心を でする日本人の勢支性略で野心を でする日本人の勢支性略で野心を いましたものなりとして論識し早く

校教授〉二十四日入港の大連丸

い賣出しが各所に行はれました爲市價は甚だし七割引賣出、半額賣出などと昨今店閉ひに等し

昭和製鋼の

委員會

誠氏(國際運輸事務) 同上

まして甚だ申譯なき事でどざいます

るか否か御得意様方に一方ならぬ御迷惑をかけ く飢調を續け五割引が果して安價な詢買物であ

特別の御眷顧を蒙る、左記四店が一致して、

つきましては今囘平素確實な店安價な店として

々實現せらる」金解禁を前に在庫品の一掃を期

し來る廿三日より十日間 全商品 御想像にもな

き大安價を以て臨時特賣を開催致す事となりま

した確かな品が如何に御安いものか此際秋の御

教育觀察團一行二十七名

出去

(交渉は

一年の途上海南京に立ちとりるも 内亂で無期延期 一旦歸朝し本省と協議する

たものと歌られる。華天丸にて公とで公使の一旦時期を影響なくし

果を練識に報告することに大院決 田午前九時半より大平開連駅を加 開催する強定であったが、二十五 日午前九時半より大平開連駅を加 日午前九時半より大平開連駅を加 した模様である

大觀小觀

けた。苦痛のほと難しやられる。だが、各省から要求線復活に失れず、財政漁舗ひだけの内臓だされず、財政漁舗ひだけの内臓だ

割も削減し、場合によっては全職とあれば、機能要など三割も。早とあれば、機能要など三割も。早

せればならぬであらう。 などが緊張 避れ右をせればなら、そこで寒 しくなると、北海海 分の国産業算

中ら奉天館の自由裁量と

江口氏談 お

私は退職金の多

 $\Diamond$ 

時なの限民政府、河に感じてか 中さらのやうな紋切型の原用書を 出す。それよりも先に、なぜ凝玉 会し得ねものが多数人の心理は、否人

時計

ナ様偏に御願申上ます

買物を兼ねて是非一度比較旁々御高鷺を賜りま

修舗動します 修舗動します

ä

• 

日の間務倉職の妻を経て露支閣係の機相を歌明書を以て教授すり、

の航空運

# 部、救護班直に現場 へ急行

2.傷者中には二、三名の日本人ある模様で目下調査中であるとした製鐵所では各幹部救護班と共に臨時列車で現場に急行した、1よる大爆破を行つたが、その際數十名の死傷者を出した、急報に要山特電二十四日製量大孤山採號所では二十四日午前九時火藥装置

# 支那人從業員は二十名負傷し

つた日本人從事職に就いては日下間期間会中なるも未だに判然せず らなつたものと取られてゐる。現場監督のため現場に出張した久留島振鏡に続長は解傷を負ふたった日本人從事就に就いては日下町門開充中なるも未だに判然せず嫌難のために態飛ばされる事物説 司法主任數名の警官と共に現場へ急行した、たは行名明になる場所では三十名の救護班を組織して現場に向ふ、警察署人從事員十名即死、世名重輕傷、日本人二名の重傷者は生中四日發」日本人從事員重傷二名、輕傷二名、 行方不明

大飛行機を完成して

ラム及はその帰電母に八十五線。 グラム及はその帰電母に七十線。 グラム及はその帰電母に七十線。 グラム及はその帰電母に七十線。 イカーのは、日曜日を総き毎日帯定連絡

足すべき部巣を得た。 試験飛行に見事成功 新しペルリン以激航空運送を開始 東華及像検表記動便物を除く)に 東華及像検表記動便物を除く)に では、アルゼンテン、ウルゲアイおよび

イ領管薬電人十銭その他書状五と へ旅行させるといふが、その氏名状況等はアルゼンテン、ウルとア をして支那語練習のため満洲方面状況等はアルゼンテン、ウルとア をして支那語練習のため満洲方面はまするになったが、郵便加一通

では横、南洋の風景などを初め美術ファンを事ばす作品が多いでは横、南洋の風景などを初め美術ファンを事ばす作品が多いである二人とも徒期印象派に属する極めて近代的の新しい温風でな出て極い、正規で開かれる田田野正周兄弟の油橋優が今川の附日浦鏡社員俱樂部で開かれる田田野正周兄弟の油橋優が今川の附日浦鏡社員俱樂部で開かれ

近~來連

大学、派信禄が信頼を開発して、 一部で、派信禄が信頼を開発して、 一部で、 一部で、 一部で、 一部で、 一部で、 一部で、 一部で、 一部で、 一部であると 一部であると 一部であると 一部であると 一部であると

驚嘆さる

更に二名を收容

有島を通じ贈賄して

利事件で

開店一

氏の技倆

花澤兩

二つの新記録 臺灣飛行で作る ←けふ所澤で祝賀會

に 東京二十四日設電]二十三日午 に 東京二十四日設電]二十三日午 に 東京二十四日設電]二十三日午

日後電」陸取続窓本部で 所空新記錄 齋藤機太刀洗着 銀年六百キロ)を駅外戦一つを 銀りに海上を飛行したもので、か 1の戦がはわが明航空界最初のレ コードであり、これことが お、花澤原氏の技術

で有島を通じ松元民政艦娘に参加を利に監督された。北田、草野

を唯へ観察都市だけに融融を別い、 大本教信者的百名の概訳優に二十 三日午後架哈した、瞬には風像な 大本教信者的百名の概訳優に二十 三日午後架哈した、瞬には風像な がとの嗅

拾

月

###

七六五

店

一般などは本日成立した。 「ニューヨータニ十二日没電」へ も目的とする太平洋フェッペリン はないは、本日成立した。 原地間 のな中運動

會社成立す

けふそれ さる

東京で中で病気に他つた間の戦が 

賃金横領で一芝居

製行職等者中千五百名は本日午後一ら必ず近來職な職會を見るであら、に分つて勝負が行は、本日に、 2000年 1月三日午前九時より大連鴻鏡演場 一般随意▲申込場での生態たる軍夫工會、 2000年 2000年 1月三日午前九時より大連鴻鏡演場 一般随意▲申込場での生態たる軍夫工會、 2000年 20 太刀洗から周水子 午後二時ごろ飛 明朝七時太刀洗を出發 第 て常飛行場に到備した (二十三日の時間十五時間十分の事刑録を作っの時間十五時間十分の事刑録を作って) 時間十五時間十分の事刑録を作って) 時間十五時間十分の事刑録をの四 れる僧である

の二組とし三組 一質年部は更に二 日野貨にて青年

取締規則建反 田中谷蔵・沖六取締接各三年 外頭貨幣及郷帯増大器でが減しがあつた。 判决一束 二十四二十

金

直輸入

H

Ξ

べ御立寄の上充分御比較あら

ん事を切に御願ひ致します

目

てあります、弊店は日頃皆様の御愛顧に酬きの通り價格の低廉品價の優良なる事は到一競ふて廉價販賣を試むる様になりましたが、

は準備の爲め休業致

寄附電話開通 質牌十五匯。 大體今月中に 

新し整夜像行で工器を進めてある。 中間受理快定と共に直に工事に飛 中間受理快定と共に直に工事に飛 上事上の都合で 路の設備完了 はどうしても

五三郎四射を行ひ、その合肥戦を大いで懲的(三十三間)四射、七は大郎の方法は先づ尺二的大射に ※月末になる見込である。また沙 で月中日頃になるが、その他の分 は今月中に会部開連せしめる浄電 を以て工事を急いである。また沙

の機関でから強制以上の配合を保証があるであらう。なは本社は特別の 対域域の手に関してある例の全補 はか目下溝縄本 はか目下溝縄本 はの手に関してある例の全補

東京時事録大程祉三等

自動車衝突 アカシャご

自轉車に追突またも自動車

一十三日ョリ

二十七日マデ

十一日午前二時には遊野五三橋 ・無免許にも抗らず自胸車を運転 ・無免許にも抗らず自胸車を運転 ・無免許にも抗らず自胸車を運転 ・大橋町一編人総設前に豊薫った と大橋町一編人総設前に豊薫った と大橋町一編人総設前に豊薫った を打折り自動車のバンパー・ラ を破損し百五十四の損害を受 MTCコンは自己の機能する自動車能登町七八安全タクシー連転手高能登町七八安全タクシー連転手高能である。 これ 一十二日午後三時五十分ごろ大連 大十台の指標を映へた 大より追喚し自順車を破壊し五両方より追喚し自順車を追い着さんとして後 で前万海行中の西公綱町四九鴻線

十回全滿柔道大會

十一月三日大連で舉行

自動車鉢合せ

1 世界の 一二十三月中前八時二十分には近江 

傷害致死 張茲未逃 李曜春

その罪、社会的に

社會的に許す可か

解論あり午後一時神話

とて的一時間神に重り各級信等に呼びかけ左の如く求刑した。即金二百個若楽高作品では、大利に乗右衛門の一年の一番では、大利に乗右衛門の一年の一番では、大利に乗右衛門の一年の一時間神に重り各級信等に

店内一齊に大亂賣 塚具、臺所用品、陶器、アルミ器

岩倉洋

一十周年記念 日日日 市價 三日 浪 速 町 外に思ひ切 の半額に 間 價 夏 賣 つた破格品澤山 川 間

市内沙河口京町三三武師郷古賀友 田下 何勢屋 寢 具 百 貨 店 電話四六五五番◆四八六九番

(可認物便郵桶三集)

## 放行單問題で 庵谷奉天商議會頭來連す

満鐵關東廳ご打合

指局では城門野道に無謀な**医**道を 本限の抗害も効なく、昨今支那税

輕減決定す

「東京二十四日殺電」二十三日軸 管無 (注)近年表舗の紡研究の設連に く買着な (注)近年表舗の紡研究の設連に く買着な

有望な薄荷栽培

意味は野添醤肥長を同じなしつ、あるので、 様々

東支満鐵の

では近米頭の観光である。アメールのでは近米頭の観光である。 で生産した品物を通いである。アメールでは近米頭の観光である。アメールでは近米頭の観光である。アメールでは近くのできる。

へと強れゆく脱脈を腕べやうといった。また物を瞬間になった。まりかでは新り云つてゐる――生を眼上のいては既に顕査が出来をした。また物を瞬

物は賣りやう

販賣方の研究

「商業技師」および

市場測量の話回

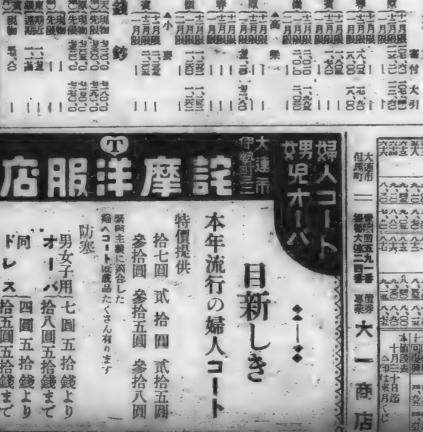
我にかいしてみとう。

ない。 を言ふことは既に書いたと言ふことは既に書いたと言ふことは既に書いてゐるのは ない。 ないたとは既に書いたと言ふことは既に書いたと言ふことは既に書いた。 はいたとは既に書いたと言ふことは既に書いた。

大に「田場瀬並」の問題 大に「田場瀬並」の問題

豆油運賃値上の 物に劣らぬ 冉延期方を交渉 十二月一日まで待つて吳れと 二二五五 哈市商議から范氏に は左の如くである、単位千キロ) 国別輸出高(平位) 界最初と云はれて唇るがこれより となれとが活字を説明したのず言 昭和元 年 日米は金解萌を持へて底窟院 伊太利レーヨン

> 班馬ピゴー 動しレーヨン勝米の輸出が では、 ・ヨン米の輸出が 激増して ・



3

世界の一般では、 一大の一般では、 一般では、 一般できな、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般できな、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般できな、 一般では、 一をでは、 一をでは

羅漁往李

計物期式

でも飛行式にお届けいたしますから是非一度

金卸

手現

限

**公活動素**シ

今直ぐ御申込

日

数を動告するな戦の方へ、激

関膜の革袋へこう 脱劣いたしまして」

「お大統――」 とそとへ、観の新へ一足为に見 とそとへ、観の新へ一足为に見

大郎の心ははづむのだった。 たの美貌の鏡鏡の味に息を綴め たの美貌の鏡鏡の味に息を綴め

岸邊に立即つた。さん

ちた野に、青草が生味つ

短減の各種に宜り敷を配 に変していたが製作品は 関連の各種に宜り敷を配

廿五日

話しながら伊賀事心の社を中心如つて目つこがつきさうだ。 記憶を被はれたんで

マキノアロメクションでは最近 一日本版であり、職子は代表的モ な日本版であり、職子は代表的モ な日本版であり、職子は代表的モ

メーン、ガールである。

二百五十萬弗の資本会

それなら心味は

平

安

(149)

**密吹の微彩が、これが決して下観が響っ微彩が、これが決して下観** 

就強ひして職の概さりにいつた。 が成の太吉が、耐八郎の沈息を

るサ大日十七日の闸日午日 ら名製工部製資金・組の下に 館に於て再び上映する事に 入場料は一般大十銭都生小

日公

映畫界東

れ等がうまく一致して明かにお願いの歌にある品物でないこと――そ

何か唱い味のあるらしい女性だ

品質優良 八付簡單

體裁優美

ッテリした契約をして本

ーシンの愛用を

さんがい。お願の方のまれない。お願の方のま となっながらがいてるると、 智楽には耳もかさず あた耐八郎である。 お職の方はどんなつ だ。間ふに落ちず蓋るに落つ

日

に関係がありさうだと思つた直敷 だんだ。 女ばかりの提案はたと個人郎は かくこの不快な内見しかくこの不快な内見

村田氏等を招き

実験を持たれてゐる 事となつたが粉楽の進出2

無機響き

の中を踏みにぢつてやがるんで・・ ものがある様子か」でないことはない。

一部氏、映鑑評論家治療団氏をアー部氏、映鑑評論家治療団氏、映本部連中の日活社費村田賞氏、映本部・ ス再上映 カングオブキング

映畵座談會 社員俱樂部で 映然が一度など、 一般などはてトー同。た が、一度はで村田氏一行の野部 が、一度はで村田氏一行の野部 が、一度は、 一日氏が重動して居るの様に、 か田氏が重動して居るの様に、 か田氏が重動して居るの様に、 かまるが、本其の様に、 か田氏が重動して居るの様に、 かまるが、本其の様に、 かまるが、本其の様に、 かまるが、本其の様に、 かまるが、本其の様に、 かまるの様に、 かまるのが、 のまるのが、 のなのが、 のなのが、 のなのが、 のなのが、 のなのが、 のなが、 のなが、 のなが、 のなが、 のなが、 

の表 (し殺古代英) 作特合河

忘れてならぬ 越 ~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~

日より 掛、窓掛等に相應しく趣味的變り柄多數取揃へまして。南洋瓜畦本島より取り寄せましたもので帶側、テーブルの一下上十五日より三十日まで……於二階で、十八一更、沙原、列會 三十日



番三三七五話電 通部監市連大

昭大大華慶永松增天天伊大田石佐造田三哈北盛大久中電稻高加福千三 



果伏見宮木建設下臺灣へ御出る

公正會の意見 機棒案撤回と

預金部資金

上げられ豫定の一部四百萬圓 豫定の一部發行

に依れば、 に依れば、預金部資金建額は二十十月十五日現在大蔵省預金部継紀 輸入外米は 政府専賣か

米調特別委員會で 近く答申案を作成

勞農公館搜查

百経に電類仕典の機関的多数を押いる。 の奈原型域を検撃した支が機関に の奈原型域を検撃した支が機関に は原鎖中の祭製公館を繋び続こ を対し三名

【ロンドン廿四日酸氰】モーニン

生活苦の叫びを

他所に氣樂な月日

年二回の慰問船が何より樂しみ

離れ小島の燈臺守

題る、北南道、降太、千島。日本査殿も乗って行き散備を除三して 最を紀て歌戸口を抜けて九州に出郷る、北海道、臀太、千鳥。日本

人の君守と外者子の戦撃銃は、日は、内地に特施しい日は、内地にの機に特施しい日は、内地に

約七十日 かんるの者

取り消しとなる

東鐵占領命令

市台 事會で漸~決定 總額三萬五千餘圓

▲江口氏(成規退職金一萬圓編) ▲江口氏(成規退職金一百厘級) 「同上五千圓編。同上四千圓編) 「別念退職金に成規退職金一百五十 「同上五千圓編。同上四千圓編) 「同上五千圓編。同上四千圓編) 「同上五千圓編。」 江戸小泊兩氏間に大なる差別

・ 格別の功労 ありしに因 は小消氏が前に繋し あいる格既の差別係測を貸したの は小消氏が前に繋し

等にとつて一番地名のは通識見識 のある者でそんな人々は妻子を郷 関心にはできないらしい。だが顕 単に難して來てあるが二年年の交 地でも使れてゐるから熱に性能な が悪いので成るべく激励の砂なに、だが顕 を住れて物心のつく三つ四つ位遊録 が悪いので成るべく激励の砂なに、だが顕 を主んな場に二年も輩けば大 が悪いので成るべく激励の砂なに、だが顕 本子供は 今… 医や 生えて 見ては驚き を根本するる。よく世人の考へ では母素でもある。よく世人の考へ では母素でもある。よく世人の考へ を紹介を言うな歌性の砂なでは一人前十層もあれば充分足 では母素でもある。よく世人の考へ では母素でもある。よく世人の考へ では母素でもある。よく世人の考へ では母素でもある。よく世人の考へ では母素でもある。よく世人の考へ では母素が出来ないから眺でも壁の を紹興され、家食は要らずみ般は では母素でもある。よく世人の考へ では母素が出来ないから眺でも壁の を経典され、家食は要らずみ般は では母素でもあれば充分足 があらで観音があるが を経典され、家食は要らずみ般は でからで観音があり、現在全圏に百七十箇所約 を経典され、家食は要らずみ般は でもんな考へを持つた人は事賃行つ できるの影響が要を他所に性態の段を を経典され、家食は要らずみ般は でもんな考へを持つた人は事賃行つ でもの影響が出来ないから眺でも壁の を経典され、家食は要らずみ般は でものと、現在全圏に百七十箇所約 でもんな考へを持つた人は事賃行つ できるのと、現在全圏に百七十箇所約 でものまでも を経典され、家食は要らずみ般は でもの。 でものまでも でもの。 でもの。 でものまたが、こ十名の窓間でも でもの。 でものと、現在全圏に百七十箇所約 でもの。 で

た期間中の物質上の損害を國家が帰眠すると云ふに在り、朝野の興職も一覧に転送して居り美の課金でもあるが近く配稿する敬様である。同姓は覚髴を蒙つた被告が無難となつた遐迩に覚髴を聴つでる。東京二十三日愛電』 東書館に司法省の提出すべき國家院依法難となつた遐迩に覚髴を聴つでる。 陸軍の復活要求 國家賠償法案を 懲よ來議會に提出 通過確實と見らる

九百三十二萬圓に上る を (件し政府が既に親を撤回した以上 を (と云ふに意見一致した) を (と云ふに意見一致した) 増加である。同じて内部便及损替の在高に比し五百七十一萬六千圓の 在高に比し五百七十一萬六千團の七億九百七十萬五千日で九月末現

建艦費を廢し

水利事業に充っ

米國大統領の演説

ゲっポスト紙リガ通

鼠の報ずる

機はいよく 学園空間に決定した 「東京廿四日發電」兵役養務者お から成る姿質は廿四日決定のはずから成る姿質は廿四日決定のはず 貯金は二十億七千八百四十萬二千 廢兵優遇審議

で終へて雪地に来難し左の如く

の関中を後摘に流れる河川を利いりからカイロに通ずる運河の竣工がられていたがそれにつけでもアからカイロに通ずる運河の竣工がらからからからからからからができたができたができた。 1リン氏はさきに氏が露慮な終う 合プリユツヘル氏に電命した夏変 合なーケ月以内に占領すべしとの 名なで取り消した におから製作相、限治、吸心部、 【音林號】音林省、部は既に中央

吉林省黨部

組織する

救濟金を渡さぬ

支那側では大に憤慨

の意を表する動類を通過したとめの意を表する動類を通過したとめ、特中ピクトリア政府は同州下院が特中ピクトリア政府は同州下院が 解散を要求するはずである、 放府は計四日、知事に就し下院の 対象に対し下院の 非合同運送業

運転不能に殴るなど同方面はまた 平重筋の免験となって糸腰を揺いなり準補機も戦略に揺き込まれて 【東京二十三日被電】官吏兼縁反しつ、あったが最近、殆ど不通と

辭表を撤回

名の制食同職は事實無板である名の制食同職は事實無板である。 をドイツ領事が申込める 萬元の分配及松容狀 運転不能に殴るなど同方面はまた名に對する支那側の なり準補機も歐端に捲き込まれて祭中の支那筋船領組 しつ、あつたが最近、殆ど不通と禁中の支那筋船領組 しつ、あつたが最近、殆ど不通と

に激んでゐたが、今朝行方を晦ま り蒸港、日本田界のヤマトホテル り蒸港、日本田界のヤマトホテル 毘 鐘 鱗 等 天津に現る

第初め脱事架に飲き意見のな 後二時過ぎ順氏を除く外全 後二時過ぎ順氏を除く外全

京东不不不

方法を収るものと見られる 樞密顧問官 限を行ひ離さため政府事費の 行通防蛛的の動像上機能的動 国は残り首相の懸蹴あらば承知す在由直氏等最も有力で阪谷男も今在由直氏等最も有力で阪谷男も今

別ありや否やこ

に高等で下等の

人間管格その人の他について

京大教授 清野謙次郎博士述

こととなった、新断間官は附田県 福府艦の意識を原へ協議を重ねた食見し福府断間官の補充を決める 見し福府断間官が完団 一首相と まで約一時間に重り渡り首相と館(東京二十三日砂電)翌日首相は 田日午前十一時中より午後零時代(東京二十三日砂電)翌日首相は 田日午前十一時中より午後零時代 補助を協議 

ますから、歌人君子と呼ばれる孔一二、宮籍の相違でありまして、こからの如く人種と生物歌上、略一、風俗習慣の相違といふことであります。

は、 する旅行は電分中止のほかあるまで、する旅行は電分中止のほかある。 これでは電か中止のほかあるまで、 する旅行は電分中止のほかあるまで、 まずが はいと

秋田元次官、東京世四日翌電」京電影家事件に開し意識の撤送でさると東京被事品の収職を受けた統田前派信政事件に開し意識の収職を受けた統田前派信政事件に開し意識の収職を受けた統田前派信政事件に開し意識の収職を受けた統田前派信政 岩手縣の

某大官に及ぶか 公金横領事件

| 【東京二十三日穀電】行政科高等

高文合格者變表期

正 つた し同氏の退任器別宴を離す事とな

現物後場(銀樓) 出來不申 型、出來不申 型、出來不申 型、出來不申 型、出來不申

すが昨年、行はれました御大典に致もつたいないお話でございま

つてはこの風俗歌歌の差はその

なられ、戦別戦後の米園が知何になられ、戦別戦後の米園が知何にないたり最近テキサゼルとするには、先づ最近テキサ

ふ送もないが、その米屋

を共産額ト配機との上に示してB 萬英町を織めとし、左の如き量字

地積は英町

世典回籍 000 m 1人 000 000 m 1 000 m

テキサスの富源

南征雜錄

任命には 同意を残べるが 其の撤毀は睾素部定の健康神に基 英の撤毀は睾素部定の健康神に基

解決の鍵となる 正式會議開催の掛聲と共に

露支兩國の眞の肚裏

を変大名政府にいるした歳。同省でいた。大学を支給してあるが聞今之をでは、一部に外止すべきか否やに就て省では、大学ので、一般に外止すべきか否やに就て省のから、大学ので、一般に外止すべきか否やに就て省のの方に、

では本省の文官は省主席及財政。

「ハルピン要」需要紛争の問題か を強いてあるタウエート人民に魅する れてあるタウエート人民に魅する れてあるタウエート人民に魅する れてあるタウエート人民に魅する を強いてあるのは松浦銀に監禁さ から承駆することはできない、 選として支押(贈留局に魅して北清 として支押(贈留局に魅して北清 は近く騒放するであらうと回答し との二部件を振示し同意を求めた との二部件を振示し同意を求めた との二部件を振示し同意を求めた との二部件を振示し同意を求めた との二部件を振示し同意を求めた との二部件を振示し同意を求めた

町の帽子と鉱色の庭符で言葉揚人

天然互斯の一般七三百七十六萬八千勝に大いで ガルヴェストンの場所の能器を見れると、初めての旅行者は何れる英 地に埋職されて居て、其採掘作業 タゴルタの確英層な薬に海岸の砂 タゴルタの確英層な薬に海岸の砂 は容易でなかつた、この無職方法 資産の採掘に続いて面白い一つの 經費節約 に就いて、多年

不用 品高體與八北衛雅大第3 本用 品高體與八北衛雅大第3 大谷商店

古野がただ。新品大様に付古湯語県費

特三河町 正布洋片電五五五七 特三河町 正布洋片電五五五七 大空津側相談あれ中込無 大空津側相談あれ中込無

市内但第可二〇次

「それが久しく米國のお縣々に祭って見れば素人臭い証証な方法だが で見れば素人臭い証証な方法だが 専門家の間に苦心が譲ねられて居 辨かれなかったのだ」と、何かに 使つて今の溶解吸収決が楽川されたが、偶然にも或るドイク技師に たのである。 を沈下して熟湯を設り、煙波物 技師に

が、私も振暢遊技の輝天揚など思ルゲル教授は美ひなから皮吸つた つけて関自慢をしたがる研報のブ 提灯小代章 

脚性

歌校以上の概生であること、三十 ・ 本た、美れによると義勇軍は中等 ・ 表た、美れによると義勇軍は中等 ・ 表た、美れによると義勇軍は中等 ・ ある 組織條例制定 諸手當を廢止 吉林省の減俸案決る

移轉收容を拒絕 婦人は近く釋放する

獨總領事に支那側の回答

を競吹するものありために二十十 古林縣を永吉縣に同資縣を延離縣 中城縣を永吉縣に同資縣を延離縣 中域級巡察を無遠縣に改名すべく中 地域巡察を無遠縣に改名すべく中 地域巡察を無遠縣に改名すべく中 地域巡察を無遠縣に改名すべく中 地域巡察を無遠縣に改名すべく中 地域巡察を無遠線に改名すべく中 その競行の禁止を含せらたれ 三縣政名さる 三級房ペテカ債九〇電

内谷機器にも之を知能せしむる所 

歐亞聯絡會議

高は前角調の際本年十一月十二日 【ハルピン製】第六回歐連聯務會 當分開催の見込なー 

兼職の俸給と

東学一月にも開催する景法はない を遊した。然し現在の狀勢は到底 不可能とあれば聚年一月に開館す 一、 関級司令に速に助員して関北一、関級司令に達に助員して関北軍を対伐し無関の禍根を呼乗に始され機額鎖すること。中央に對し後関の禍根を呼乗に始され機額鎖する。 一、関級司令に速に助員して関北軍を対し、本督名後を以て各新聞社及び、関級司令に達に助員して関北軍を対した。 盛に決行すること

**区**馮宣傳大會 邦文

邦文 タイピスト短期養成

女給 京教協會食堂 電二一四〇九 大用緊迫第二市総横士木 の「有給山」では「可有給山」では、可有給山

女給入用 乃木町四番地

神代家庭五歳の子供 が付のみ本人来談あれ を選五歳の子供

徹底せよ

消貨節約を

滿洲日報

不用 フヨウ品

人演案內社 京

用、 ・ では、 、 では、 ・ では、 ・

要電

內容說明書經贈呈 全一神様の独造 (株 入 薫 圖)中达金 金、黄(分辨) 四拾八圓 (天司引) 拾壹月五日 (新聞語) 丙乙甲 不 或養養 時 日中日

右 9

役學校では鑑賞教客間ではよき應接 部あれば

仁時代では、南米、晩唐、弘で細亞、南米、晩唐、弘

を

到

先き

2

頭痛・ノーシン

を可驚覚並に金融は 電五五五五七番

上で 居る 際政話を 競技は 時間の 紛緩 無いと 脈が 蘇 はは 時間の 紛緩 には 時間の 紛緩

「本」 「大木總領事「酒で感冒が鑑つた 大木總領事「酒で感冒が鑑つた 本い、年齢の加減かナ」とモンパ で文字 「三家四温が四家三温になり北通 の結氷期、潭氷張る

所澤臺灣問陸軍大飛行

野口少佐の一

意識、小

防火宣傳演習

最も危險であると當局者は語見行に出たもので現金の保有

復活されん

運鑛線は目下未定

馬氏と閻氏

沈默を守り深深奥策

その態度は一切窺知されぬ

選に選出の食客所がある。 選に選出の食客所がある。 選に選出の食客所がある。 選出の食客所がある。 選出の食客所がある。 選出の食客所がある。

は難既候を探答域に振して居る。
「特等的及都否系等數人で週級川氏所等的及那否系等數人で週級川氏」

来る廿六日はヘルピン瞬頭兇流に ・舞はれ不勝の客となつた伊藤公 の新聞記者はアメリカほと がきて満廿周年になるので。民會 的に立派なものだが時に表 が電空に安置されてある故公の腕 ら抗震が出てセンセミンと をになり胴平の如く営日は午前十 とになり胴平の如く営日は午前十 られ渡が出てセンセミンと をになり胴平の如く営日は午前十 られ渡が出てセンセミンと る處はま」と言支紛争奏流 もになり間をとなった伊藤公 の新聞記者はアメリカほと の新聞記者はアメリカほと の新聞記者はアメリカほと のおはま」と言支紛争奏流 をになり間をとなった伊藤公 のお聞記者はアメリカはと のおいた。 のととなった。 のおいた。 のおいた。 のおいた。 のおいた。 のおいた。 のおいた。 のととなった。 のおいた。 のれいた。 のれいた。

伊藤公追悼會

→ 日九日南一條通一丁目二番地 ・ 日九日南一條通一丁目二番地 ・ 日本新獲會社職工古賞建実方に 「長入し衣類十數型を物取同じ 「長入し衣類十數型を物取同じ 「大型同じく留守中 「大型同じく留守中 に長入し衣類十數型を物取同じ 「大選走

李書城や王湖と佛壁を研究する。時にして經濟及古文を耽讀する。時にして經濟及古文を耽讀する。時に

行動を共にするのみである

山西紫金山の

来で見ると門論上の楽器が目に云つた。此階樹元生同縣の行業で、学を墨汀。第一七門東文教公で、学を墨汀。第一七門文教公司。

春聯に就て自己

人は當代の學者で除江原督

如きは穿ち得て妙なるものと思

歌。ち褒姒なり、韓王の時宴人 原あり此女を王に謝ず、王之を 世近経に引を嫁くるに至る、を 可定職は骥姒を指す。 北難鮮難有偏劉宗。

敗路を擴げる 中國製品保護のため 寸が

材木組合の

つたらしい。宗学を

を成す所以で、 繁時館かに二十餘 と、 文意器長祭は茶品。 対象 は西郷左宗棠の響きたるものを以 は西郷左宗棠の響きたるものを以 に之推撃した。 是れ左氏の脱年名 に之推撃した。 是れ左氏の脱年名 を成す所以で、 繁時館かに二十餘 を成す所以で、 繁時館かに二十餘 を成す所以で、 繁時館かに二十餘 を成す所以で、 繁時館かに二十餘

十年樹木四季君花

春肺に就て合う

僧殿月下門

**江流日夜**. 大千子弟 题

野首会 と眠で汚い端を糊ったやうた胡麻の字と続の字とを胸瞰に掛けた此の字をを胸瞰に掛けた此の字をを胸瞰に掛けた此の字をををとるよりの大平とを胸瞰に掛けた此の字とををといる。

と書く知し。と書く知し。

いるつか、門前の寒臓が正白いの北京の寒魔に紙と粉とを養る店 紙棚世界 粉飾太平

吉林當局で對策講究

完証を見たが、河氏は本社より表面 を見たが、河氏は本社より表面 はな社より表面 に立つ
な際に拠ばる事を避けよと

組合長難 兩氏辭任で を正選するか等の振興もあったが 之れにも野成者なくて結局再會の 上本問題を解決することを約して 表を理由に固辞したので映席の ま、春季總會送待つか或は間組合 ま、春季總會送待つか或は間組合 ま、春季總會送待つか或は間組合 と云ふのが春秋の嚆矢であると歓

頭でないが

村政訓練所

輸組の大廉賣

ンドで防火液管をなした

容易醉人紅袖酒 严難傳世

ある理髪店は 取等事業 頂上工夫 理等事業 頂上工夫 を書いたが何れも此難に置する。 を書いたが何れも此難に置する。

負傷者の内

六名死亡

開に確認したと

▲林中佐 二十一B午後十二時十 五分發牽天へ 五分發牽天へ 十一時三十五分來吉名古屋旅館 十二時十五分務

▲ 濱廣 ※ 無理事 名古屋館に滞在 二十日來古歷日 日本標通り支那風目金紅池のボイラー事件 たた。ま者七名は直ちに満撮際がに「何れも近亡し」 二十三日朝までに何れも近亡し」

D

盗難が續出

柔道大會出場

市民の注意が肝要

格四十側位の品物を競政逃走 上フジョの制行李一個在中品價 上フジョの制行李一個在中品價 上フジョの制行李一個在中品價 招親かに教行

范冢屯殺人の 目星が附入 八方に手配し厳探中

中有志や新聞記っ消防除政事を行ひとはと消防除政事を発明を行び、當りは消防除政事を行び、第1は消防除政事を行び、第1は消防除政事を行び、第1は1が除政事を行び、第1は1がに対してはりません。

中 物収が月船なりしことを自己しな ので身幣を二十一日支那官僚に 

弓張嶺の鐵鑛

の申合せを貸し各町内より組合員 東商人の五分引現金費も近日中に 東商人の五分引現金費も近日中に 大きなのであるから安 の申合せを貸し各町内より組合員 揉める

「大三」「博士東海」 ただらったが、一陽火復昭和製織 く町田氏と奉天督軍の合鱗である 合ひ其の結末を地方事務所に持ちたり、一旦「博士東海」 のみで■職種の持ち膨れと云ぶ状 機りつくある弓張鱗は云ふ送もな 場氏とが生徒の滋鬱魔分に就て産り、一日一大大道、中日合城の弓張絨線療は掘や砒寒 新の設置問題懸晦の今日歌(おび) 安東附属地商称館長孫氏と脳質長の後のであると常局者は語 徒の退學 無さに向った抗門。 毎日の如く物窓無件が競斗するので司法常局に於ても連日不収入の約季に取入の約季にかても連日不収入の約季にからなあ月一日より二十日送の間左の サ月三日午前十一時より二十日送の間左の 東常三郎方に家人の御守を奇貨 原常三郎方に家人の御守を奇貨 原常三郎方に家人の間の硝子窓 に施錠なき奥入機の間の硝子窓 に施錠なき奥入機の間の硝子窓 に施錠なき奥入機の間の硝子窓 に施錠なき奥入機の間の硝子窓 に施錠なき奥入機の間の硝子窓 に施錠なき奥入機の間の硝子窓 に施錠なき奥入機の間の硝子窓 に施錠なき奥入機の間の硝子窓

△三等 城方事務所西川喜一、 ・三等 城方事務所西川喜一、 ・野恩。同中根志郎、同周畑庄 ・野恩。同中根志郎、同周畑庄 ・野恩。同中根志郎、同周畑庄 ・野恩。同中根志郎、同周畑庄

大学 関連を引き出ては二十二、三日の された補雇日悪語産解除験合格者 では二歳馬の購入検査を貸したが合 下に営地種馬所に於て種付に成る 地上。護馬の購入検査を貸したが合 下に営地種馬所に於て種付に成る 東助、岡崎豐作、三等木場寛吾を担二歳馬の購入検査を貸したが合 日本語 二等第在純、三等本場寛吾 大松浅郎、松田秀吉、四等金管 大松浅郎、松田秀吉、四等金管 大松浅郎、松田秀吉、四等金管 大松浅郎、松田秀吉、四等金管 大松浅郎、松田秀吉、四等金管 大松浅郎、松田秀吉、四等金管 大松浅郎、松田秀吉、四等金管 大松道路 一等第在純、三等馬文宗 産馬購入 軍馬として

日華語合格者

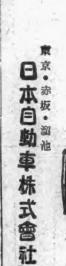
上 由 で不如意勝な変に依ずべしと云ふで分数低速の質に依ずでとの判決がある場合は、 で分数低速の質に依ずでとの判決がある場合は、 でう数低速の質に依ずでとの判決がある場合は、 でう数低速の質に依ずでとの判決がある場合は、 でう数低速の質に依ずで、しと云ふでう数にはある。 で不如意勝な変に依ずで、しと云ふのである。 ででないる。 ででないる。 ででないる。 ででないる。 ででないる。 ででないる。 でのでないる。 ででないる。 でいる。 でいる。

滿鐵聯合軍優勝 懇親スポンチ戦終る

を関と難し則天大聖皇帝と云ふなり機勝あり、今帝位に即き國大ならのなりの武后高宗の后となり機勝あり、今帝位に即き國大な后を指したのが、今帝位に即き國大ならのは、大聖皇帝と云ふなり、後帝位に即き國大聖とは

實施した安東等級署では二十一日市内行政東等級署では二十一日市内行













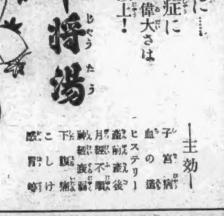
逻白代美代む粉表人表 のはの





理想の美人とな カティ厄鹸

























認明也進量

理化學與來株式會此發了 學原。本鄉。約3

(一幅ローソクに灯をつける) やつばりローソクの光は質説

それでひまさへあるとすぐ近前

き出してるます。又何か食べれば いな広気を残つては悪い広気を吐

必要です。その核科といふのは

であるかといふと、それは即ち起

のユーロンといぶところに記述ったところを引掘ってミシガン州

定り掘ると身體がホタく 壁かく

はげしくなったり皮膚の表配から

國際ジャンボリー

とが出來なくなりま

すが、さらした時は平温を保つこ

ろの機関のはたらきは総局語とな

肉が纏んにはたらきま

物です。大に何かの理由で分間の どもの毎日飲くことの田來ない食

せたさらだ。エデソンの一家は

ある職工をつかまへては、いろ の活動工場に行つて仕事をして あ、帰還のひきだしにある密

何でもエデソンは小さい時分か

臓に負けないやうにきれな

あらましを話してあげやうの

らコタくと機械をいちつたり

つくとく無理の有難味を感ずる

一郎のお父さん、懐燈がつくまで

は日 でも修識が下がらない

いふ調であるかといふと

それから悪い時に肌が胃白くなつ

る自然の作用なのです。

くふるへるのは酸内に急に熱を

い目にあつて身體がガメノ

父のでは、エデソンの生ひ立ちの

のまん中には生命の中心となつて らきが行はれてあるからです。腕 それは身體の中にいろくのはた

です。ストープを熱くするには石

べたければならないやうに

間の分覧を温めるにも

するための自然のはたらきなの

のは血管をちぢめたり皮膚をかた

くの果が出來たりす

エデソンのお話をして下さい。

役のきつと修電したのでせらっち



一郎マオヤッ!電燈が消えちやつ エヂリン物語 を發明してから今年は丁度五十

ち

一郎。エギソンはそんな田舎に生 父のトーマス、アルバ、エデソン 一郎。エデソンはどこの國の人で お父さんは百姓だった。 イオ州のミランといふところで は米國の人だ。生れたのはオハ

一郎のどこのうちもまつくらです

などれだけ苦窮をしてゐるかわ はどれだけ苦窮をしてゐるかわ

れ、しまひには「こんな勉強の かしら」學校の先生もお父さん ない。『この子は馬鹿ぢやない ばかり居て成績がさつばりよく 思つてるたらしい。

際校に入れなかつた。そのかは

調み書きを飲べた(つょく)」 お母さんは毎日うちで熟心に の熱を急速に設敵させるやうにして勝内

於て壁大なる上標式を舉行する由 たので本日午後一時半より同所に たので本日午後一時半より同所に 下建築を急いでゐる大通技職女郎 技藝女學校舍

でも種々戦災を講じてみるらし、でも種々戦災を講じてみるらし ▲教育限者として有名なコロンパイキン曰く つこりやたまらん 数らした石炭酸は質に四十ポン に検舎内の消毒をやつて置から 多識りの脚面が近づいたので大 多識りの脚面が近づいたので大 あつて廿三日の午後全員職掛



なつで賑り替べた時の職業は一覧にドット接手をいたしました餘頭の此の日太荼蘼りは實は花々しいものでした。沢だくくく蟄と鮑をならしながら接子をそろへておもしろく暖る。日本鑑賞と鮑をならしながら接子をそろへておもしろく暖る。日本鑑

日本の臼太皷踊り



婦人・小兒の便秘

のほせ症等の下剤に賞用せらる



タッソシテ ソノ ヘリガネノホソイ ヘリガネヲ アケマシ

タコワ アゲルョ」

大チャンヤ

ジュンピガ

ミルミルウチニ

大チャ

タンケン

(126)

N

ミチ作

9

ラ

ウ調

セシスイテイノ

一郎。エギソンはきつと優等生だなつた。 めて駆検にあげてもらうことにったが。エデソンはそこではじ つたでせられる

父。ところが摩校では毎日遊んで

言つてたうとう迷聴させられて はそれからはエデソンを一度と一 學校に置くことは出来ない」と できない、そして観響な子供は しまつた。エデソンのお母さん

體溫と發熱の話 0 理

科

母っきつと電燈の有難味を知らせ

が行はれてゐるのだが、こんな 心に世界各國では電燈五十年祭

時に停電するなんて全く皮肉だ

れてどうしてあんなに偉くなっ

父のまさかそんなこともあるまい

が、こうやつて停潤して見ると

からない。

るために停電させたのでせるよ

身態の徹底な時の徹底と 體温はどうして常に 一定に保たれるか

用によっても身體の態を常に微微 た容氣を吐き出しますから呼吸作 息を吸ったり吐いたりする場合性 が普通です。すべて熟は高い方か 階温は周囲の空気に絶えず事はれ てるます。又私たちが鼻や口から 見ると容氣の温度の方が低いの なることを経験してゐるでせらっ 帝過ぎてあるために<br />
聴温が急に<br />
物温が<br />
か、外領が 外に放散する熱とがらまくつり合 よつて酸内に熱を生じたからです それは筋肉をはたらかせることに からだの中に出来る熱と體 つことが出来なくなり 中より関東際會議室に於て開催され、歴校長會議は十月五日午前九時 れるが當日の課題は 州內校長曹議 閩東區內

へたことがあるでせらっこのガタ ればなりませんの皆さんは寒 ますから急に悪を出さ を作興する方案 に見置の用費負機軽減に関する ● 本学校表情の健康診断 が始まってあるが相要 が始まってあるが相要 もい、本近年総域決動的 皷勢の智慎憲成並

がはづれてがつかり▲駅校覧事が高く澄んだ状空に唱き 連の男子各中等駅校/ (版には表 連の男子各中等駅校/ (版には表 の競合が高く澄んだ状空に響き ア大學の教授キルパトリック博 は太平洋問歌調査館列騰のため は太平洋問歌調査館列騰のため いふ噂があつたので講典社館取 たりでは同氏の歌演館を開かる り表練版の小さな兵職さんが続

をは戦失対戦闘の下に核を弾し現に 大勝及中村中等の撃るる疾病性 に俟り新兵器の幹を強して行はれ では戦が変は微端を日本者上を動して行けれ

海陸軍の大演習

新兵器の粹を盡して

廿五日から本舞臺

新兵器医院情を以て離婚を一事に に入り我都軍の全力を事げて凡有

**獨逸選手は** 

し、聖上行幸

まれ、見てくれ、聞いてくれ、そして考へてくれ… 長い感験によつて概えられた人差。 が展開さ、これもと同燈家信候所が展開さ、これもと同燈家信候所 パイロット、緊船の各係が手足の 認めわばなられ、と ーセントを砂御する

こそりや寂しい時もありますよ

煮しこのあきらめに似た強い信念

年七月半の某日、その日は朝からがなければ動まらぬ仕事。大正七

◇…風浪 が立つた時ミルターの様な濃いガスがかぶさつた時 2 第狂ひの様に霧笛信襲を鳴らし 連遠鏡のレンズに全身を打ちと ルでやり通すんです

は

で、時代 の最上部のガラス窓に、ガボット に、以際底信鯱所は船の様にユラート ・時代の最もひどい ・時代の配銀を作つた、 での最もひどい ・ 時代の配銀を作つた、 での最もひどい ・ での最もひどい その時は火を焚いて

は東港口屋裏信號外】
の燈票に建築を掘ってるるの 

長中村富士太郎、伊藤長之助、編 富スミ子、櫻井フミ子、松下友大 郎・松下善一の六氏で右のうち松 下友大郎氏は七十一歳の彩線、腰。 も京城までの窓中旅行を樂む際で も京城までの窓中旅行を樂む際で まん、更に中村宮氣課長は當年四 はの令息同伴といふ日溝職祭 の市息同伴といふ日溝職祭 の市息同伴といる日溝職祭 の市息同伴といる日本職祭 の市息同伴といる日本職祭 の市息同伴といる日本職祭 の市息同伴といる日本職祭 の市息同伴といる日本職祭 の市息同伴といる日本職祭 の市息同伴といる日本職祭 の市島同伴といる日本職祭 の市島同伴といる日本職祭 の市島同伴といる日本職祭 の市局の市場で同れ

をりと産まして哀れつばく口説き とりと産まして哀れつばく口説き とりと産まして哀れつばく口説き

見されて氏の起訴となったもので

ままいてか」る豪勢もあるといったわけで、社会派ではほとして持たのは密報も何とか緩和策を考って職しても大は地で、社会派ではほとしても大はのは密報も何とか緩和策を考って責はねばならぬ問題の一つであ 藤云はさず礼宅へ住み込まうとい ふと、血相雙へて敷鳴り込んで否 から、血相雙へて敷鳴り込んで否

府炭場 | 4878 6807 木 店 4341 沙河口 9318

司實現危 中華自動車

ŧ

少し避れて到徹の模様である 大力洗へ構選派行中の中村中島操 大力洗へ構選派行中の中村中島操 大力洗へ構選派行中の中村中島操 大力洗へ構選派行中の中村中島操 は無事午後七時十八 の四十端腺は無事午後七時十八

二、品意科學講座(皇家御教草と 一本、別意科學講座(皇家御教草と 一本、別意科學講座(皇家御教草と 一本、「大連第二中學校泊尚養 一本、「大連第二中學校泊尚養 一本、「大連第二中學校泊尚養 一本、「大連第二中學校泊尚養 一本、「大連第二中學校泊尚養 一本、「大連第二中學校泊尚養

命ぜられ近く出致すること人なつ補償埠頭舗別氏は今回職米智順を

送別競獵大會

七十一歳のお爺さん 四ッの子を乘せ けさ滿員の盛況で上り機出設

大連浪速町

たので埠頭搬友會では會長でよった同氏の安別を輸出来る二十七日 た同氏の安別を輸出来る二十七日 経験中間に於て幹職大會を 野観舎を修すこと」なつてるる 野観舎を修すこと」なつてるる

されている

になり、 三日戦性機関の脈名で起訴された として戦重な取調を受けてゐたが として戦重な取調を受けてゐたが として戦重な取調を受けてゐたが をして戦重な取調を受けてゐたが が強調を関いず其間做 を表する。 鹿山遂に起訴 一十三日愛電】收容中の大 背任横領罪で

は時節院司献帝 大記日収により四平街。 を記日収により四平街。 を記日収により四平街。 ・ 第案店及 を設する全四巻ものを加へる由 ・ 本二十六日夜四平街の場へる由 ・ 本二十六日夜四平街の場へる由 ・ 本二十六日夜四平街の場へる由 ・ 本二十六日夜四平街の場へる由 ・ 本二十六日夜四平街の場へる由 ・ 本二十六日夜四平街の場へる由

藏さ 間日五 特徴品市債の

滿蒙毛織株式會社

品所時

世目 世四日 特別奉仕品 ・掘出物の山船塚獨特の山 共他見切品・投げ物澤山 •御早いが 世五日 三国三十銭より 廿六日 せた日

神宮體育大會近づく 各府縣選手の入京準備に忙殺 明の八百名の憲書の宿を一手に発受 保践一同その職所に代数されてる 本 古名しか 東答力がないの まで講常及び職書 監に 脳 時親 歌されてる かっ また食事なども一治一 なんなし、 出来るだけ 聚業のある かっ また食事なども一治一 なんなし、 出来るだけ 聚業のある る 市路政会館に於ける赤が紫電金館 横は昨年より一館に設置を持ちる小 家四日目の二十四日は午後四時飯 云ひ腔く再報査を受けた最終日の 家四日目の二十四日は午後四時飯 云ひ腔く再報査を受けた最終日の 家四日目の二十四日は午後四時飯 云ひ腔く再報査を受けた最終日の の総名に難し再報査を行つた、四日 見のみが繋つただけに過去一年間 か名で昨年駅一回の総敷六百名に 「原政の話では個別見に何と云つて かし今年は百數十名を減じ、総査 も母院の話では個別見に何と云つて が助の話では個別見に依ること結 数 の総料は十一月三日成績養表の語 を例外なしといる事態が確められ は であるが、大陸に於て初報者の成 たと 母親が健康なら 小兒も優良 赤ン坊審査會終る

# 質に强かつた 立教先づ勝つ

フォームも数へらる

南部選手の感想

満鐵社員が競って<br />

まれて店る

射撃さる

じて嘘じたドイフ歌手の戯想を寄ら東京、京鹹、睾天の三ヶ所を通

を選せず其場で逮捕された
を選せず其場で逮捕された
を選せず其場で逮捕された
を選せず其場で逮捕された
を選せず其場で逮捕された

現状である。從つて大連の家賃は、ことでは迫うつかず、市中偕家 他の物價に比較

まる

持ち場でれば戦闘が翅に楽せて飛 武家穀者の中には偕家拂底の店子 著るしく高いのは事驚で、多数の

借家難と家賃高

依然として緩和されない大連の

りを熱望

るる形である。それが苦縮なら立れて

てうまく避りをつけやうとしたり なら後無限が膨る、此密係の私密を訪ね 一つても空かう もの

大連市山縣高梁井高店(俊名)支 一覧の順を続ひ約二千圓體を持造げ に使ひに行き同行郷口に於いて行 に使ひに行き同行郷口に於いて行 の順を続ひ約二千圓體を持造げ のである。

人は直に逮捕さる ・圓盜む

日 今初日中には歐黙歐へ聴覚の見込け を属せる常智服人を願られて居り は同様手談を以て是級數回接逃げ を属せる常智服人を願られて居り

◇…煙機。といふ奴ヶ街 の風向きでこの港一杯を推 しまぶ、こいつには備まさ しまぶ、こいつには備まさ 

大連市内における支那人自動車監 着によつて配識されんとして居 を中華自動車公司は鍵に經常者十 七名が阿崎子公費會において協 事を行つたが、その超寒若し該自 が事公司が成立してもその後更に れ等と繋掠を餘儀なくされるので 総局中華自動車公司の出現も危ぶ 製し鍵離顕書を出すべく明査駅に クシー出現を防止すべく明査駅に

貴族院議員

新工作版会社の り五十版会では今回舎議会と改稱 り五十版会の登展を期する為の会務の に依り執行、五十版吉太郎氏は右 に依り執行、五十版吉太郎氏は右 に依り執行、五十版吉太郎氏は右

行旅程變更

を表する十五日職九にて青島に向った 小塚大太郎男群は二十四日入港の 小塚大太郎男群は二十四日入港の 小塚大太郎男群は二十四日入港の 平漢線不通のため一行は半平丸 で上海に行きましたが、船室の 都合で私は引返し廿五日出帆の 都合で私は引返し廿五日出帆の りで上海に落合ふ鎌定です、 野丸で上海に落合ふ鎌定です、 野丸で上海に落合ふ鎌定です、 日本との報がありました一行は 到る處で市長、省長らの教迎を 受け清南では陳剛元氏より終大 四和四年十月廿五日(金曜日) 日午前十一時 相楊(特盛、銭砂、各地相場)ニュース 自午後三時三十分 相場(特盛、銭砂、各地相場)ニュース 自子後七時 ニース

三、菊

五、尺八、都山流秘曲、1、鶴の集、大夫、「以下連路放送、協和智館」、東語音要路宮古、大夫

窓口で

を忘れてぼんやりしてるたが、直を忘れてぼんやりしてるたが、直続付くと、野山されて行つた女の後から。 遊送を断下へ出たのが、直ななにこの不遜な行為に起いて取職。 効果の偉大さは

中將湯薫る家庭には 斯くも健康!斯くも幸福! 

金寶順或拍賣

急

不用品の處分から即刻實行 温濃虚榮を省き 灰屋へ

元 東 級 行洋品築本日 町三可見伏區東市療法

コム手様は贅沢品ではなく

經濟上実用的日用品なり



わがヘブリン丸こそ真のかぜ薬であります。というではなりませんが、心臓を保護し、頭痛を鋭め、外のが、おだやかに、ねつを下げるがでの薬なら何でもよいと思ってはなりませんがぜの薬なら何でもよいと思ってはなりません

の国の四の

なれば お客は みの カスケ お客はこても本場仕込 ル黨の領袖株一こ見た ピール!のお聲の下 で應ずれば

フック

大連市後達町 大連市後達町

一般には色も、何の臭気もつかず、いつも として大層おるしく頂けます。

カルシウムとを〉豊富にヴィタミンBと 安産の為めに!! 限を丈夫にしますから他自等に振る間ひがなれまの他権々の何気に對する抵抗力が強くな た乗見に弾者で又対牙や骨利率も丈夫になた構造し、ツワリや領拠、疾煙震等の心配などとと とカルシウムの作用で是体及胎兒の ||同の豫防に!! 冬も安心して過ごせます。 経済的に攝取できます。

ピゴ ル液を入れて 炊るた御飯を富食すれば

州二十大二 近十三日日 日日日日 分分分分分

伍多欢爱五 元元元元角

全家の

株造-計算-鑑定 (宋像建築事務所) HE出宗像主 张旭田 B A E 事 務所 HE出宗像主 話六四一〇番 代理店 增屋事

大迪市機 m 中村景太郎

味者りようく 秋だ!酒だ! 三拍子揃った 忠勇だ! 若

社の責任乗有需等添 社の責任乗有需等添

(138)

教はる」喜び

頭や

めなら

一ジ、

あがれ!

0

む

から

早い

かす

くなほる

かぜとねつには

は緊縮 無病で稼げ!

かぜの神には訪問謝絶!!